PMS-1518（12049）

施工説明書

INAX

ジェットボウル

もくじ

安全に関するご注意 2

各部の名称 4

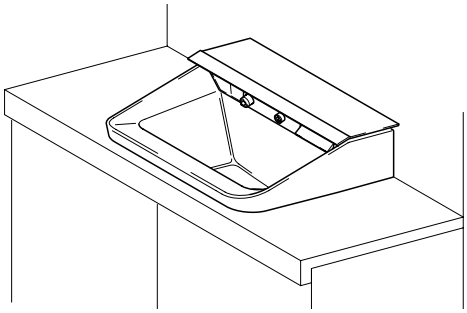
施工前の確認事項・準備 6

施工方法 16

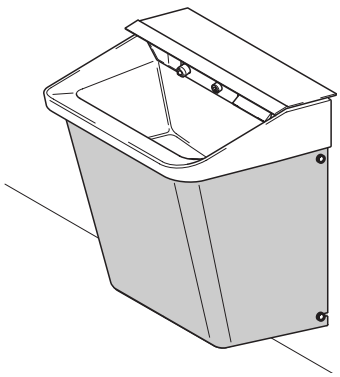
調節・試運転 32

引渡し前の確認 37

[カウンタータイプ]



[壁掛タイプ]



●施工手順

1.温風用ホースの取付け …… 16

2. 壁掛フレームの取付け …… 16

3. 止水栓の取付け …… 17

4. 排水口部の取付け …… 17

5. 洗面器の取付け …… 18

6. 排水管の取付け …… 19

7. 電磁弁の取付け …… 24

8. 電気温水器の取付け …… 25

9. 給水ホースの接続 …… 26

10. アース線の接続 …… 29

11. 乾燥機の接続 …… 29

12. 水石けんタンクの接続 …… 30

13. 化粧カバーの組付け …… 31

14. カウンターと洗面器のコーキング …… 31

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。

●施工後は必ず正常に作動することをご確認ください。

●お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。

株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ

お客さま相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017173

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

受付時間 平日 「9:00～18:00」
土・日・祝日 「9:00～17:00」対応
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

安全に関するご注意

安全のために守ってください！

ジェットボウルを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

（用語および記号の説明）

警告 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止 ・・・・・「この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。」

指示実行 ・・・・・「この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。」

水場禁止 ・・・・・「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

分解禁止 ・・・・・「分解してはいけません！」

アース接続 ・・・・・「必ずアースを接続しなさい！」

⚠警告

電源工事は電気工事業者に依頼してください。
※誤った電気工事は火災や感電の原因になります。

指示実行

製品の改造や分解をしないでください。
※火災や感電、ケガなどの恐れがあります。

分解禁止

電気機器ですので、電気部品や機能部に水をかけたり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所で使用したりしないでください。
※火災や感電、故障の原因になります。

水場禁止

電源にコンセントプラグを使用する際は、定格 15A・AC100Vのアースターミナル付接地極付コンセントを単独で使用してください。
※他の機器と併用すると過熱し、火災の恐れがあります。
※電気温水器付タイプの場合はアースターミナル付接地極付2口コンセントを使用してください。

指示実行

安全に関するご注意

⚠警告

アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・法則等にしたがって、必ず「法的有資格者（電気工事士）」によるD種接地工事（100Ω以下）を行ってください。
また、漏電遮断機を設置してください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因となります。
※コンセントにアースターミナルがない場合は、アースターミナル付接地極付コンセントへの交換とD種接地工事に準じた工事を電気工事店にご依頼ください。

電源には漏電遮断機を取付けてください。
※感電の恐れがあります。

AC100V以外では使用しないでください。
※火災や感電、故障の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

⚠注意

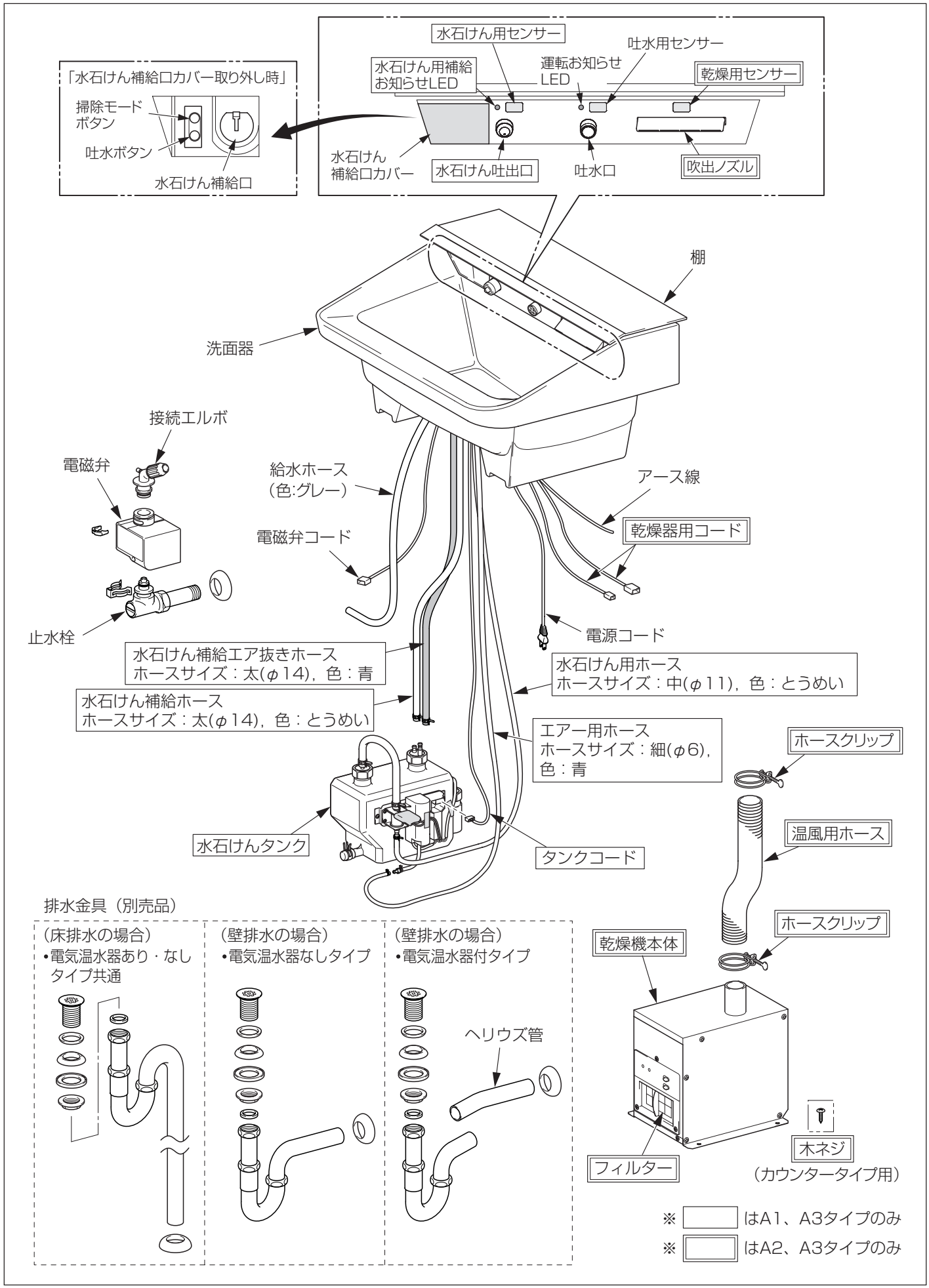
タンク、配管内の水や水石けんが凍結するような場所へは設置しないでください。
※凍結した場合、破損し漏水の恐れがあります。

器具に乗ったり、踏み台として使用したり、かたい物を落とすなど強い衝撃を与えないでください。
※故障や、陶器が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。

●電気温水器付タイプで長期間使用しない場合は、膨張水排水セットに水を入れてください。（P40参照）
※トラップの水が蒸発して配管から臭気が発生することがあります。

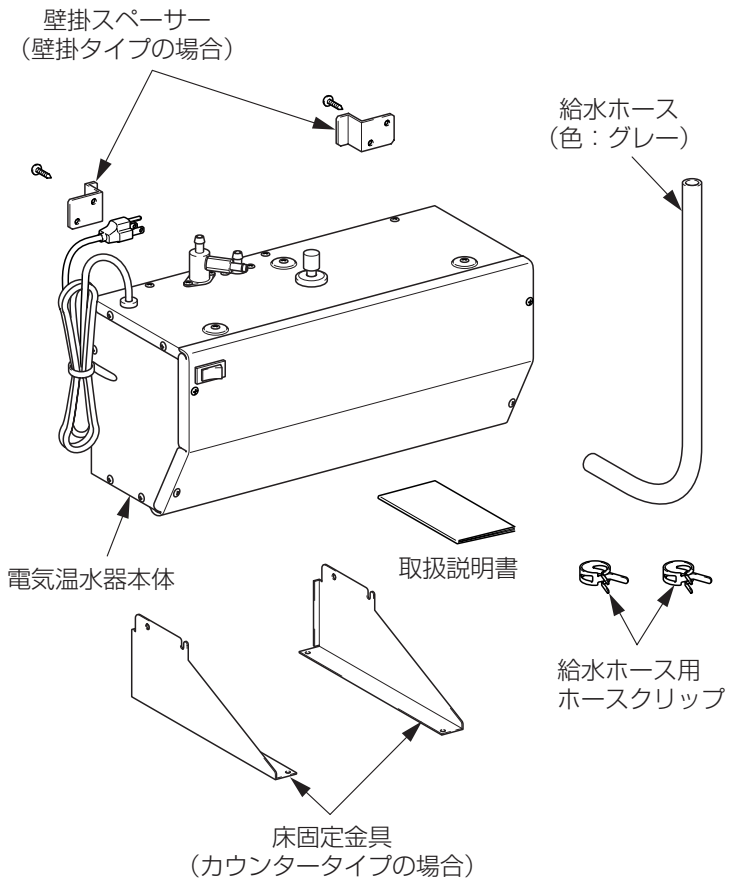
●電気温水器付の場合、電気温水器を空焚きしてしまった場合は、電気温水器本体左側のリセットカバーを外し、ドライバーなどカバーの穴に入るもので、中にあるリセットボタンを押して復帰させてください。（P40参照）
※本体電源ランプが点灯しているのにお湯が出ない場合に、上記の方法を利用してください。

各部の名称

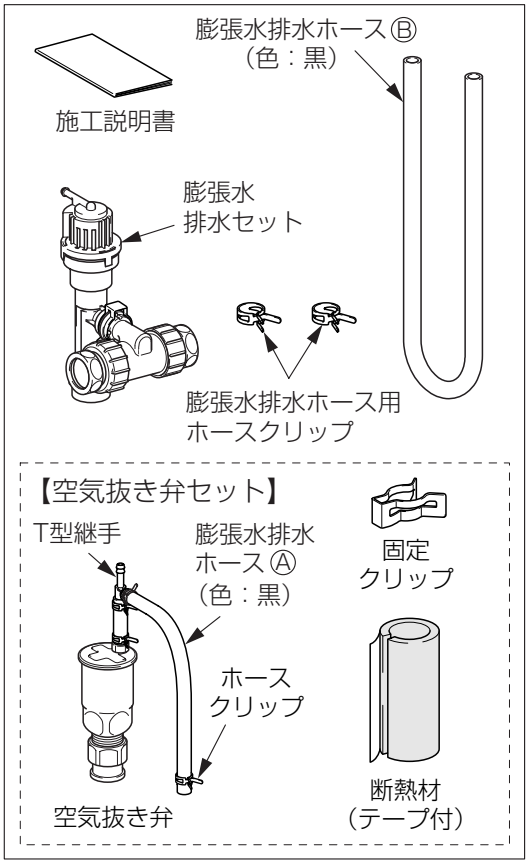

「水石けん補給口カバー取り外し時」
掃除モード
ボタン
吐水ボタン
水石けん補給口
水石けん用センサー
吐水用センサー
水石けん用補給
お知らせLED
運転お知らせ
LED
乾燥用センサー
水石けん
補給口カバー
水石けん吐出口
吐水口
吹出ノズル
棚
洗面器
接続エルボ
電磁弁
給水ホース
(色:グレー)
アース線
電磁弁コード
乾燥器用コード
止水栓
電源コード
水石けん補給エア抜きホース
ホースサイズ：太(φ14)，色：青
水石けん用ホース
ホースサイズ：中(φ11)，色：とうめい
水石けん補給ホース
ホースサイズ：太(φ14)，色：とうめい
エアー用ホース
ホースサイズ：細(φ6)，
色：青
ホースクリップ
温風用ホース
水石けんタンク
タンクコード
排水金具（別売品）
(床排水の場合)
•電気温水器あり・なし
タイプ共通
(壁排水の場合)
•電気温水器なしタイプ
(壁排水の場合)
•電気温水器付タイプ
ヘリウズ管
乾燥機本体
ホースクリップ
木ネジ
フィルター
(カウンタータイプ用)
※ はA1、A3タイプのみ
※ はA2、A3タイプのみ

各部の名称

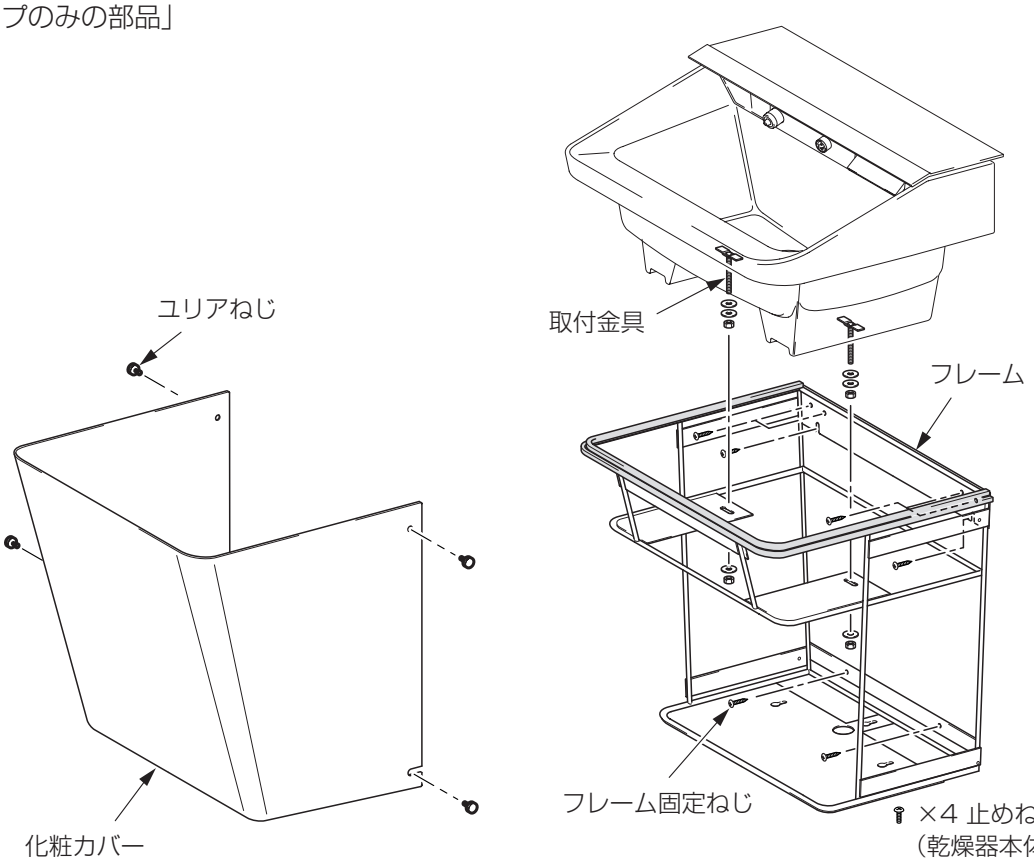
電気温水器（W3、W2、W1のみ）



排水セット EFH-4-25



「壁掛タイプのみの部品」



施工前の確認事項・準備

■品番一覧

（電気温水器なし）

	機　能			
品番	自動水栓	オートムース	ジェット乾燥	設置タイプ
L-C21A3	有り	有り	有り	壁掛タイプ
L-C11A3				カウンタータイプ
L-C21A2		なし		壁掛タイプ
L-C11A2				カウンタータイプ
L-C21A1		有り	なし	壁掛タイプ
L-C11A1				カウンタータイプ

（電気温水器付）

	機　能			
品番	自動水栓	オートムース	ジェット乾燥	設置タイプ
L-C21W3	有り	有り	有り	壁掛タイプ
L-C11W3				カウンタータイプ
L-C21W2		なし		壁掛タイプ
L-C11W2				カウンタータイプ
L-C21W1		有り	なし	壁掛タイプ
L-C11W1				カウンタータイプ

※品番頭にGがつくと
　プロガード仕様

施工前の確認事項・準備

■カウンタータイプ仕様

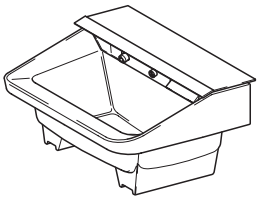
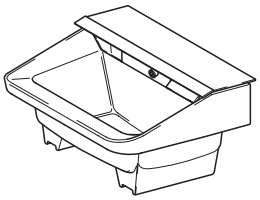
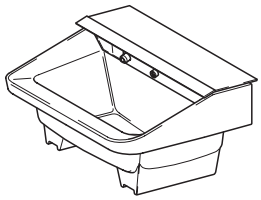
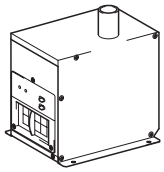
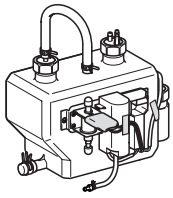
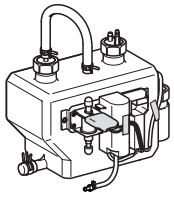
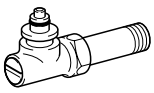
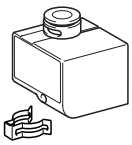
品番		L-C11A3	L-C11A2	L-C11A1	L-C11W3	L-C11W2	L-C11W1
タイプ		カウンタータイプ					
		乾燥機能・水石けん機能	乾燥機能	水石けん機能	乾燥機能・水石けん機能	乾燥機能	水石けん機能
	電気温水器	電気温水器なし			電気温水器付		
製品寸法（陶器部）（W×D×H）		565mm×475mm×140mm					
定格		AC100V　50／60Hz					
定格消費電力		840W		15W	1250W（ジェットボウル本体：840W、電気温水器410W）		425W（ジェットボウル本体：15W、電気温水器410W）
電源仕様		電源プラグ付きコード式（有効長さ1m）					
使用電力範囲		単水栓：0.05～0.75MPa			単水栓：0.07～0.75MPa		
給水接続		R1／2					
排水接続		壁排水・床排水　φ25mm　黄銅管　※排水金具は別途手配					
感知方法		測距式赤外線センサー					
洗面器		標準色：BW1、BN8　　注文色：BU8、BB7、LR8					
壁付トラップカバー		―					
水機	吐水形態	泡沫					
	吐水量	5L／分（定流量弁付き）					
温風乾燥	風速	風速105m/s		―	風速105m/s		―
	乾燥時間	6～9秒（風量：強、ヒーター：ON時）		―	6～9秒（風量：強、ヒーター：ON時）		―
	切替モード	風量：「強・弱」　ヒーター：「ON・OFF」		―	風量：「強・弱」　ヒーター：「ON・OFF」		―
水石けん吐水	吐出形態	ムース	―	ムース	ムース	―	ムース
	吐出量	約2mL/回	―	約2mL/回	約2mL/回	―	約2mL/回
	タンク容量	約4.0L（2,000回分）	―	約4.0L（2,000回分）	約4.0L（2,000回分）	―	約4.0L（2,000回分）
	水石けん補給口	洗面器内（機能部）	―	洗面器内（機能部）	洗面器内（機能部）	―	洗面器内（機能部）
製品重量	洗面器部	約20Kg	約20Kg	約20Kg	約20Kg	約20Kg	約20Kg
	機能部･フレーム部	約9Kg（水石けん満水時）	約5Kg	約5Kg（水石けん満水時）	約16Kg（水石けん満水、電気温水器満水時）	約12Kg（電気温水器満水時）	約12Kg（水石けん満水、電気温水器満水時）
安全装置		過電流ヒューズ、自動復帰型バイメタル、温度ヒューズ		過電流ヒューズ	過電流ヒューズ、自動復帰型バイメタル、温度ヒューズ		過電流ヒューズ
使用温度範囲		5～40℃					
元止め式電気温水器		―			定格AC100V、出湯温度38℃、沸き上がり温度約76℃、沸き上がり時間約30分（15→76℃）、タンク容量約2.7L その他機構:膨張水処理機構		

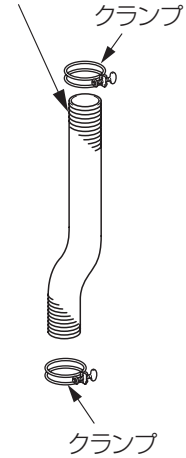
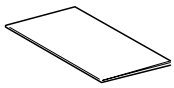
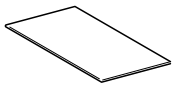
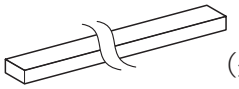
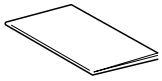
■壁掛タイプ仕様

品番		L-C21A3	L-C21A2	L-C21A1	L-C21W3	L-C21W2	L-C21W1
タイプ		カウンタータイプ					
		乾燥機能・水石けん機能	乾燥機能	水石けん機能	乾燥機能・水石けん機能	乾燥機能	水石けん機能
	電気温水器	電気温水器なし			電気温水器付		
製品寸法（陶器部）（W×D×H）		565mm×475mm×140mm					
定格		AC100V　50／60Hz					
定格消費電力		840W		15W	1250W（ジェットボウル本体：840W、電気温水器410W）		425W（ジェットボウル本体：15W、電気温水器410W）
電源仕様		電源プラグ付きコード式（有効長さ1m）					
使用電力範囲		単水栓：0.05～0.75MPa			単水栓：0.07～0.75MPa		
給水接続		R1／2					
排水接続		壁排水　φ25mm　黄銅管　※排水金具は別途手配					
感知方法		測距式赤外線センサー					
洗面器		標準色：BW1、BN8　　注文色：BU8、BB7、LR8					
壁付トラップカバー		白色、黒色（2色）					
水機	吐水形態	泡沫					
	吐水量	5L／分（定流量弁付き）					
温風乾燥	風速	風速105m/s		―	風速105m/s		―
	乾燥時間	6～9秒（風量：強、ヒーター：ON時）		―	6～9秒（風量：強、ヒーター：ON時）		―
	切替モード	風量：「強・弱」　ヒーター：「ON・OFF」		―	風量：「強・弱」　ヒーター：「ON・OFF」		―
水石けん吐水	吐出形態	ムース	―	ムース	ムース	―	ムース
	吐出量	約2mL/回	―	約2mL/回	約2mL/回	―	約2mL/回
	タンク容量	約4.0L（2,000回分）	―	約4.0L（2,000回分）	約4.0L（2,000回分）	―	約4.0L（2,000回分）
	水石けん補給口	洗面器内（機能部）	―	洗面器内（機能部）	洗面器内（機能部）	―	洗面器内（機能部）
製品重量	洗面器部	約20Kg	約20Kg	約20Kg	約20Kg	約20Kg	約20Kg
	機能部･フレーム部	約19Kg（水石けん満水時）	約15Kg	約15Kg（水石けん満水時）	約26Kg（水石けん満水、電気温水器満水時）	約22Kg（電気温水器満水時）	約22Kg（水石けん満水、電気温水器満水時）
安全装置		過電流ヒューズ、自動復帰型バイメタル、温度ヒューズ		過電流ヒューズ	過電流ヒューズ、自動復帰型バイメタル、温度ヒューズ		過電流ヒューズ
使用温度範囲		5～40℃					
元止め式電気温水器		―			定格AC100V、出湯温度　約38℃、沸き上がり温度　約76℃、　沸き上がり時間　約30分（15→76℃）、タンク容量　約2.7L、　電源プラグ（有効長さ0.9m） その他機構:膨張水処理機構		

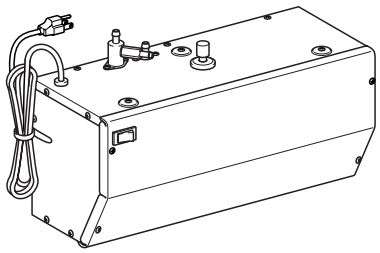
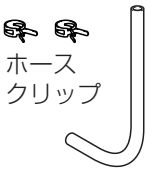
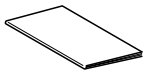
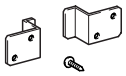
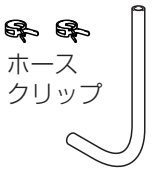
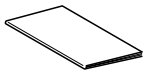
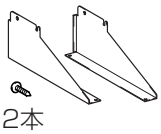
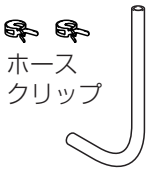
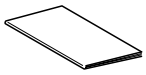
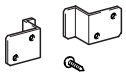
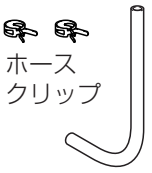
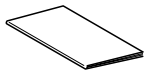
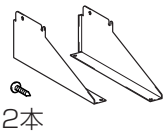
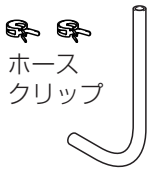
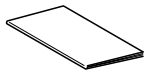
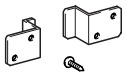
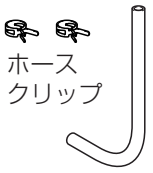
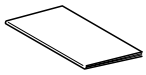
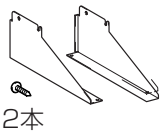
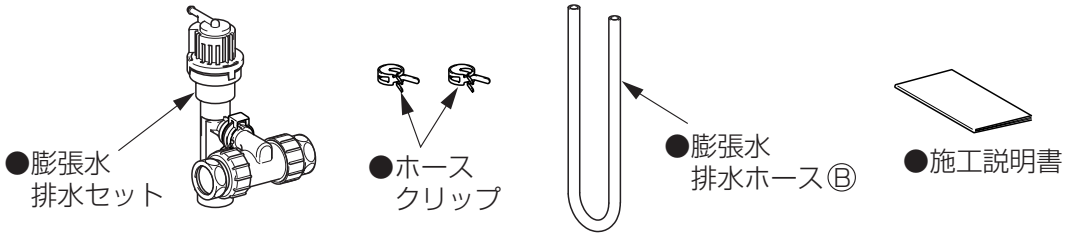
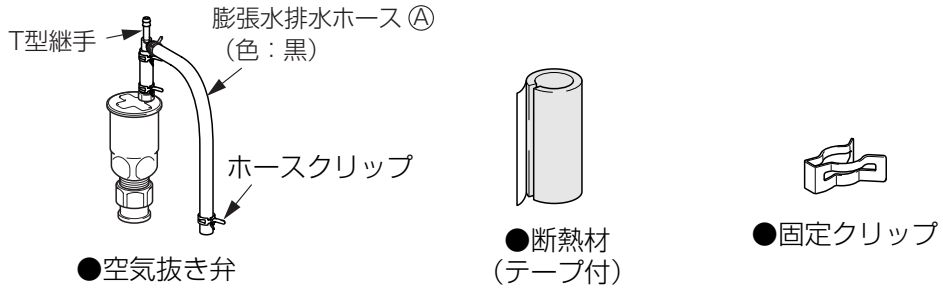
次ページに続く

施工前の確認事項・準備

品番	L-C21W3 L-C21A3	L-C11W3 L-C11A3	L-C21W2 L-C21A2	L-C11W2 L-C11A2	L-C21W1 L-C21A1	L-C11W1 L-C11A1
洗面器 機能部						
乾燥機本体					なし	
水石けん タンク ＋ ストレーナー	 水石けんタンク ストレーナー		なし		 水石けんタンク ストレーナー	
電磁弁、接続エルボ ＋ 止水栓	 止水栓		 電磁弁		 接続エルボ	

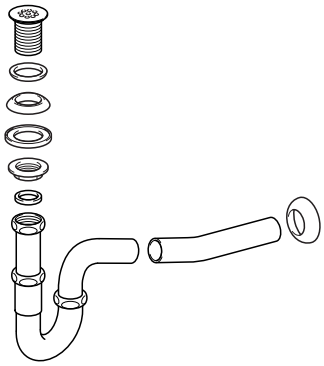
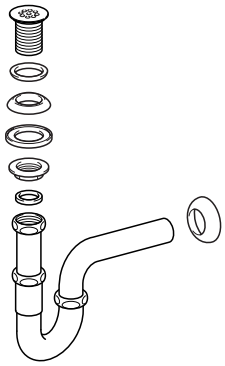
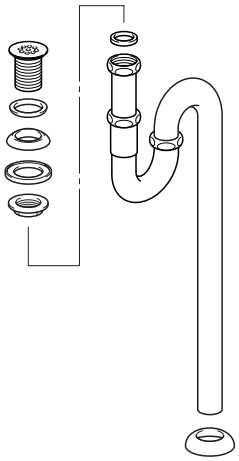
洗面器 付属品	
	●温風用ホース  クランプ クランプ
	●木ねじ（φ4.1×32）4本
	●取扱説明書 
	●プロガード読本  ※プロガード仕様のみ
	●洗面器背面シールA　1枚  （長）
	●乾燥機使用方法ラベル
	●洗面器背面シールB　2枚 （短）
	●防水シート 

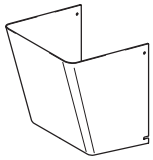
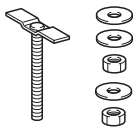
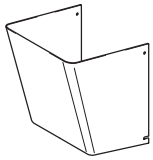
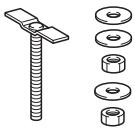
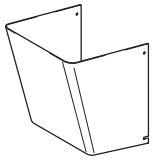
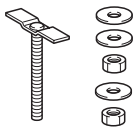
施工前の確認事項・準備

<table>
<tr><td>品番</td><td>L-C21W3</td><td>L-C11W3</td><td>L-C21W2</td><td>L-C11W2</td><td>L-C21W1</td><td>L-C11W1</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6">※L-C21A3、L-C11A3、L-C21A2、L-C11A2、L-C21A1、L-C11A1は除く</td></tr>
<tr><td>電気温水器
本体</td><td colspan="6">  </td></tr>
<tr><td>電気温水器
付属品</td><td>●給水ホース
 
ホース
クリップ
●取扱説明書
 
●壁固定金具
 
4本</td><td>●給水ホース
 
ホース
クリップ
●取扱説明書
 
●床固定金具
 
2本</td><td>●給水ホース
 
ホース
クリップ
●取扱説明書
 
●壁固定金具
 
4本</td><td>●給水ホース
 
ホース
クリップ
●取扱説明書
 
●床固定金具
 
2本</td><td>●給水ホース
 
ホース
クリップ
●取扱説明書
 
●壁固定金具
 
4本</td><td>●給水ホース
 
ホース
クリップ
●取扱説明書
 
●床固定金具
 
2本</td></tr>
<tr><td>膨張水
排水セット
付属品</td><td colspan="6"> 
●膨張水
排水セット
●ホース
クリップ
●膨張水
排水ホースⒷ
●施工説明書</td></tr>
<tr><td>空気抜き弁
セット付属品</td><td colspan="6"> 
T型継手
膨張水排水ホース Ⓐ
（色：黒）
ホースクリップ
●空気抜き弁
●断熱材
（テープ付）
●固定クリップ</td></tr>
</table>

次ページに続く

施工前の確認事項・準備

品番	L-C21W3 L-C21A3	L-C11W3 L-C11A3	L-C21W2 L-C21A2	L-C11W2 L-C11A2	L-C21W1 L-C21A1	L-C11W1 L-C11A1
排水金具 （別手配）	（壁排水の場合） 品番：LF-21PA-W •電気温水器付タイプ 		（壁排水の場合） 品番：LF-21PA •電気温水器なしタイプ 		（床排水の場合） 品番：LF-21SA •電気温水器付・なし共通 	

品番	L-C21W3 L-C21A3	L-C11W3 L-C11A3	L-C21W2 L-C21A2	L-C11W2 L-C11A2	L-C21W1 L-C21A1	L-C11W1 L-C11A1
壁掛 フレーム ＋ 化粧カバー	●フレーム ●化粧カバー  ●ユリアネジ ×4 ●取付金具  ×2 ●止めネジ （M4×5） ×4 ●タッピンネジ （φ5×50） ×8	なし	●フレーム ●化粧カバー  ●ユリアネジ ×4 ●取付金具  ×2 ●止めネジ （M4×5） ×4 ●タッピンネジ （φ5×50） ×8	なし	●フレーム ●化粧カバー  ●ユリアネジ ×4 ●取付金具  ×2 ●止めネジ （M4×5） ×4 ●タッピンネジ （φ5×50） ×8	なし

施工前の確認事項・準備

●給水は必ず上水としてください。中水及び異物を多く含む水は使用できません。
●給水圧力範囲は、電気温水器なしの場合 0.05 ～ 0.75MPa、電気温水器付の場合 0.07 ～ 0.75MPa です。この圧力範囲でご使用ください。
●**水栓を取り付ける前に必ず配管中の異物を完全に洗い流し、**空気を完全に抜いてください。
●直射日光が当たらないところに設置してください。
●電源は AC100V、定格消費電力は、電気温水器なしの場合、乾燥機能・水石けん機能タイプおよび乾燥機能タイプは 840W、水石けん機能タイプは 15W、電気温水器付の場合、乾燥機能・水石けん機能タイプおよび乾燥機能タイプは 1250W、水石けん機能タイプは 425W です。
必ずこれらに適した電気工事を行ってください。
●コンセントは、アースターミナル付接地極付 1 口コンセントとしてください。電気温水器付の場合はアースターミナル付接地極付 2 口コンセントとしてください。
●必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように注意してください。
●電磁弁は必ず正しい向きに取り付けてください。
※横にしたり逆さに取り付けますと誤作動の原因となります。
●センサーの表面を傷つけないように十分ご注意ください。
●水栓の機能を十分に発揮させるため、必要な場合定流量弁を取り外し、流量調節栓（止水栓）を絞って、流量 4 ～ 5L/ 分程度にしてください。（「流量の調節」の項参照）

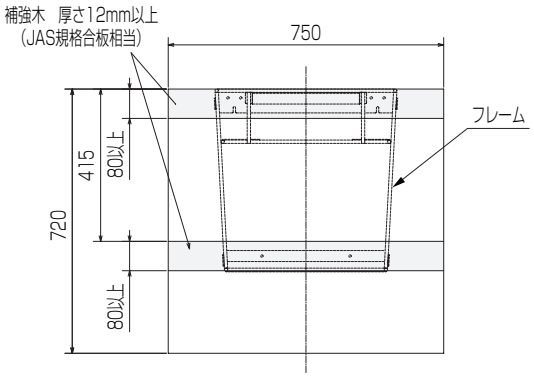
■壁掛タイプ壁補強について

⚠注意

必ず次の点に注意して施工してください。誤った施工方法をされた場合、商品が外れケガをする恐れがあります。

指示実行

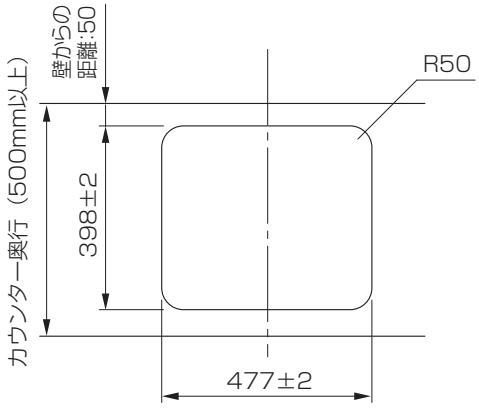
①木ねじを使用して乾式施工の壁に取り付ける場合は、右図位置に厚み12mm以上の補強木（JAS規格合板相当）を設けてください。
②コンクリート壁にはAYボルト（品番AY-84別売）を使用して取り付けてください。



■カウンターの切込穴及び取付穴について

●市販のカウンターにジェットボウル洗面器を設置する場合は、ジェットボウル洗面器用の切込穴があいていることを確認してください。
●カウンターの切込穴は下図寸法としてください。

●カウンター奥行は最小寸法500mmとする。
●洗面器を壁にぴったりつける場合は、壁から50mmの位置で切込みがはじまること。
●洗面器を壁にぴったりつけない場合は、壁から100mmの位置で切込みをはじめ、洗面器を壁から50mmはなすこと。
※洗面器後部のお手入れのため50mm必要です。
※カウンター奥行は550mm以上としてください。
●開口寸法は398×477とすること。



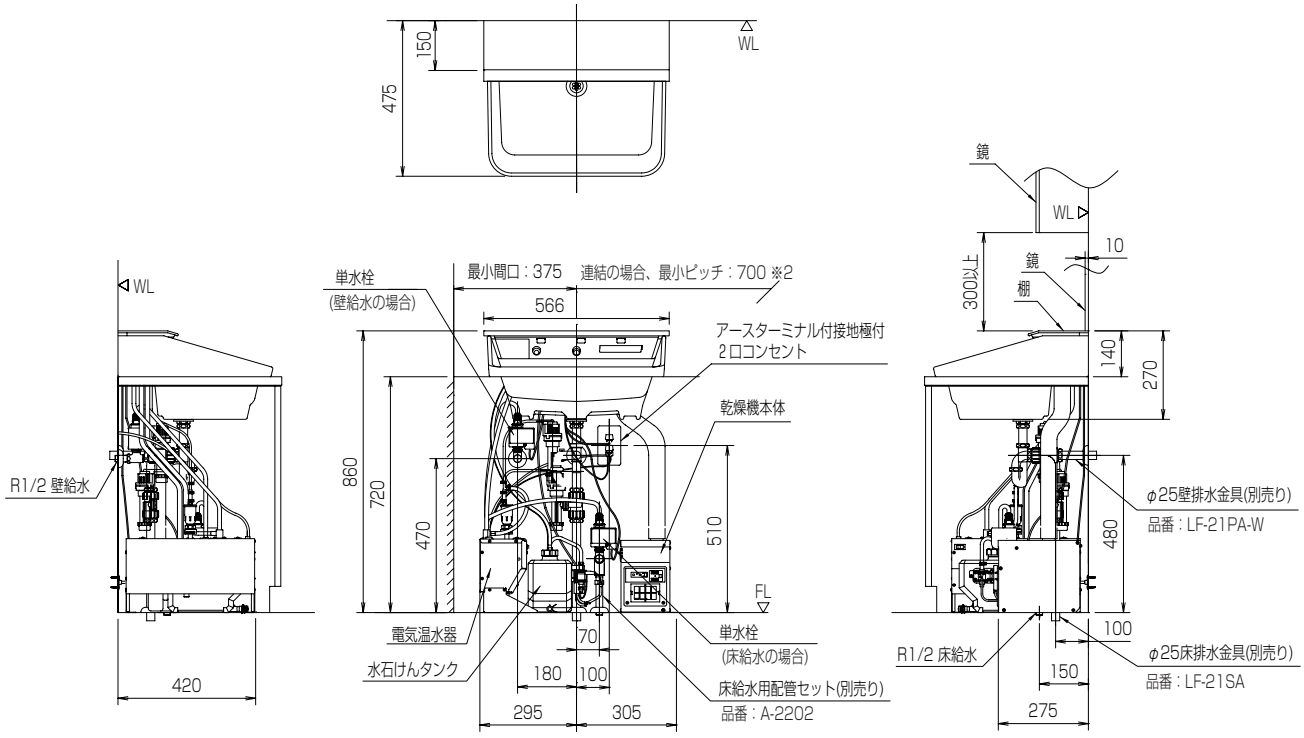
次ページに続く

施工前の確認事項・準備

■施工寸法

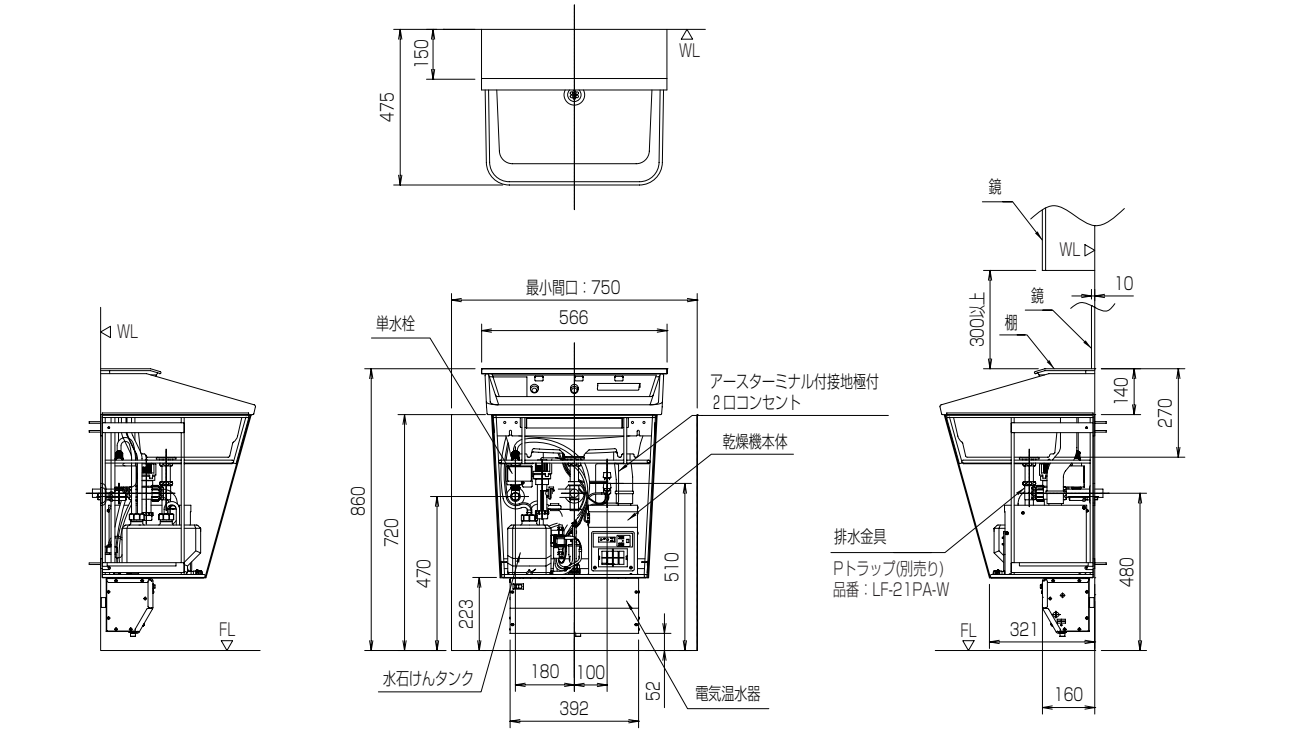
W3 タイプ、A3 タイプ ※ A3 タイプには、電気温水器はありません。

［カウンタータイプ］



※2（ ）は A3 タイプ（電気温水器なし）の場合

［壁掛タイプ］



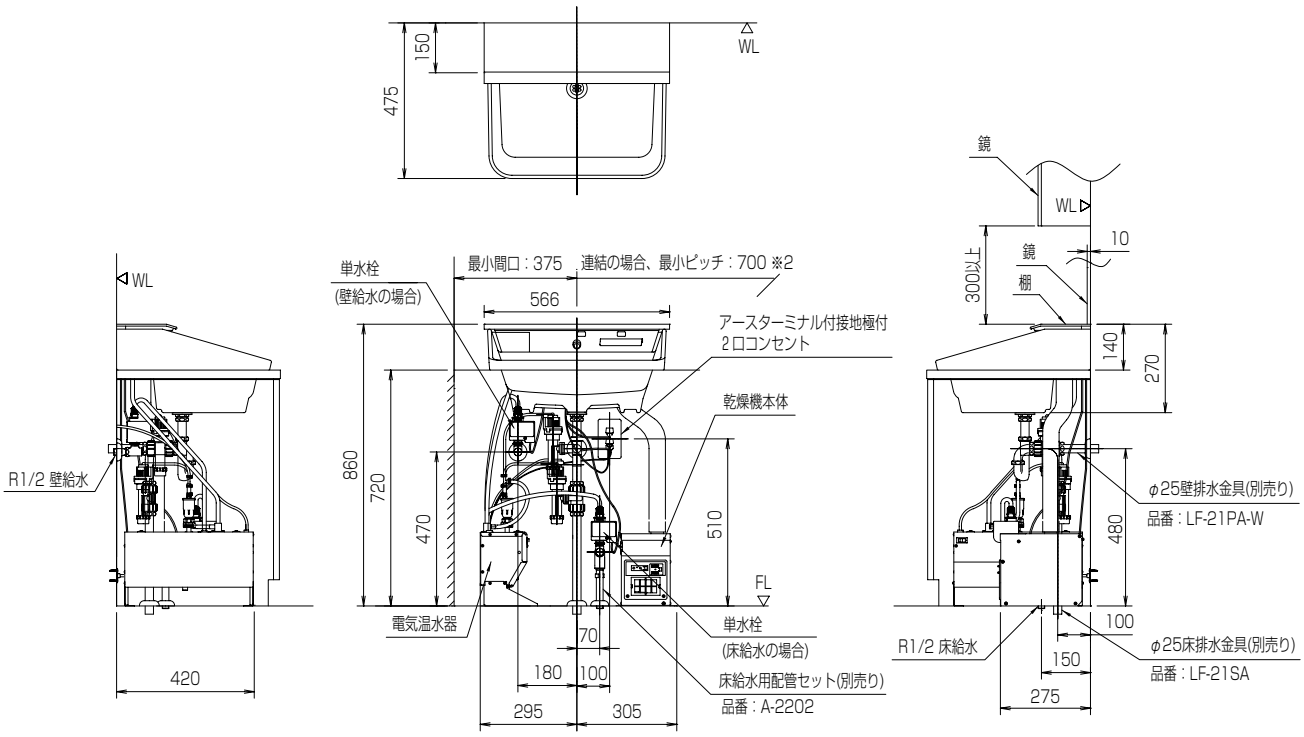
※2（ ）は A3 タイプ（電気温水器なし）の場合

※1　A3 タイプはアースターミナル付接地極付 1 口コンセント

施工前の確認事項・準備

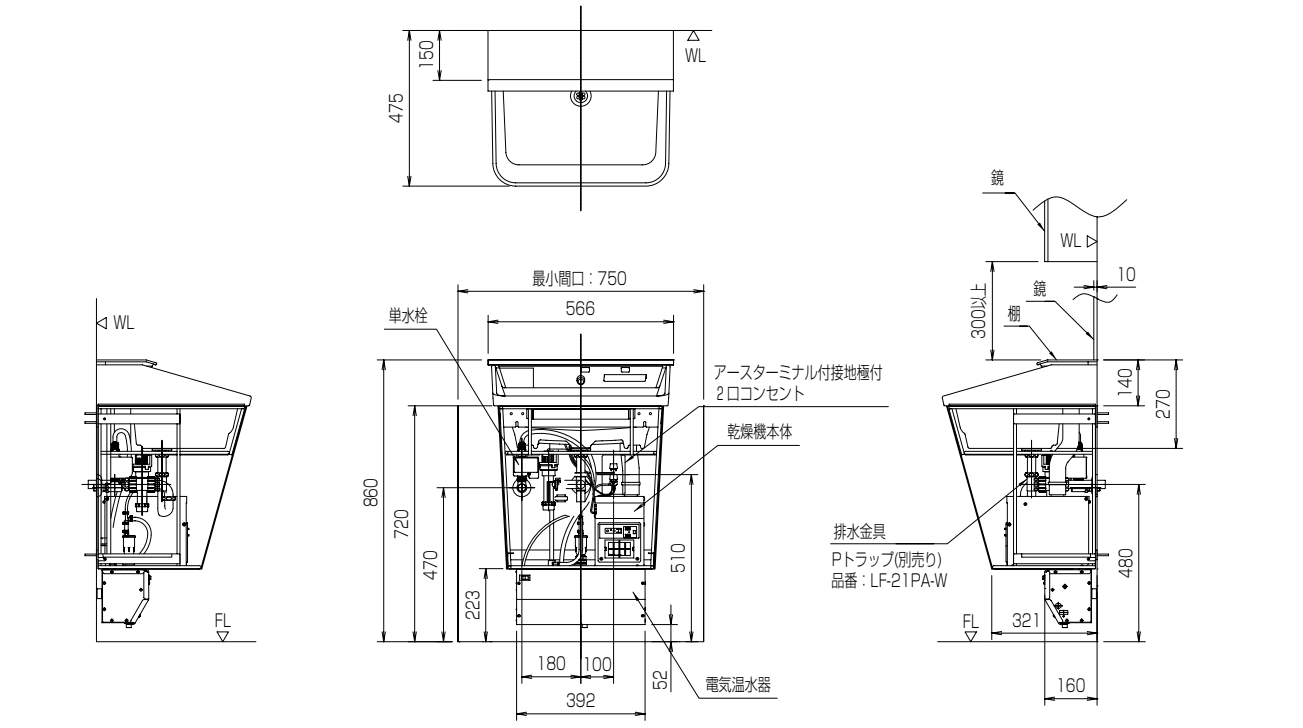
W2 タイプ、A2 タイプ　※ A2 タイプには、電気温水器はありません。

[カウンタータイプ]



※2（ ）は A2 タイプ（電気温水器なし）の場合

[壁掛タイプ]



※2（ ）は A2 タイプ（電気温水器なし）の場合

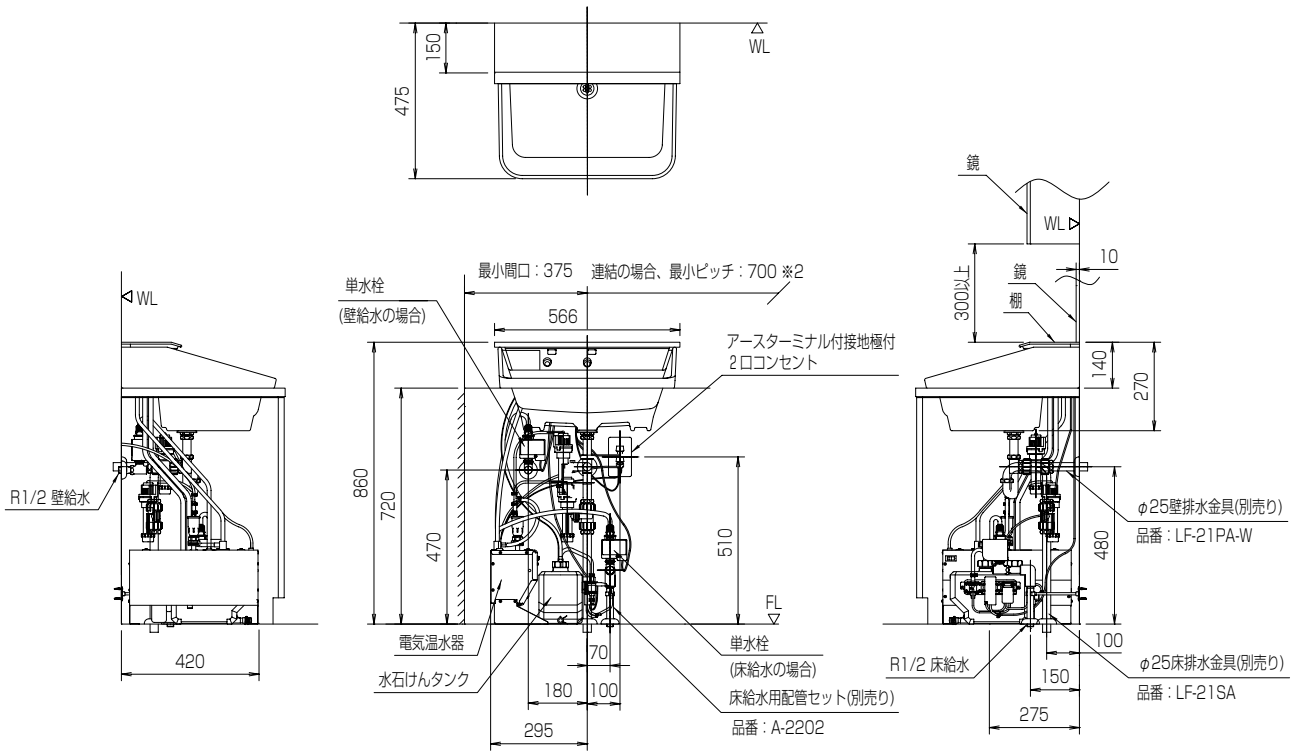
※1　A2 タイプはアースターミナル付接地極付 1 口コンセント

次ページに続く

施工前の確認事項・準備

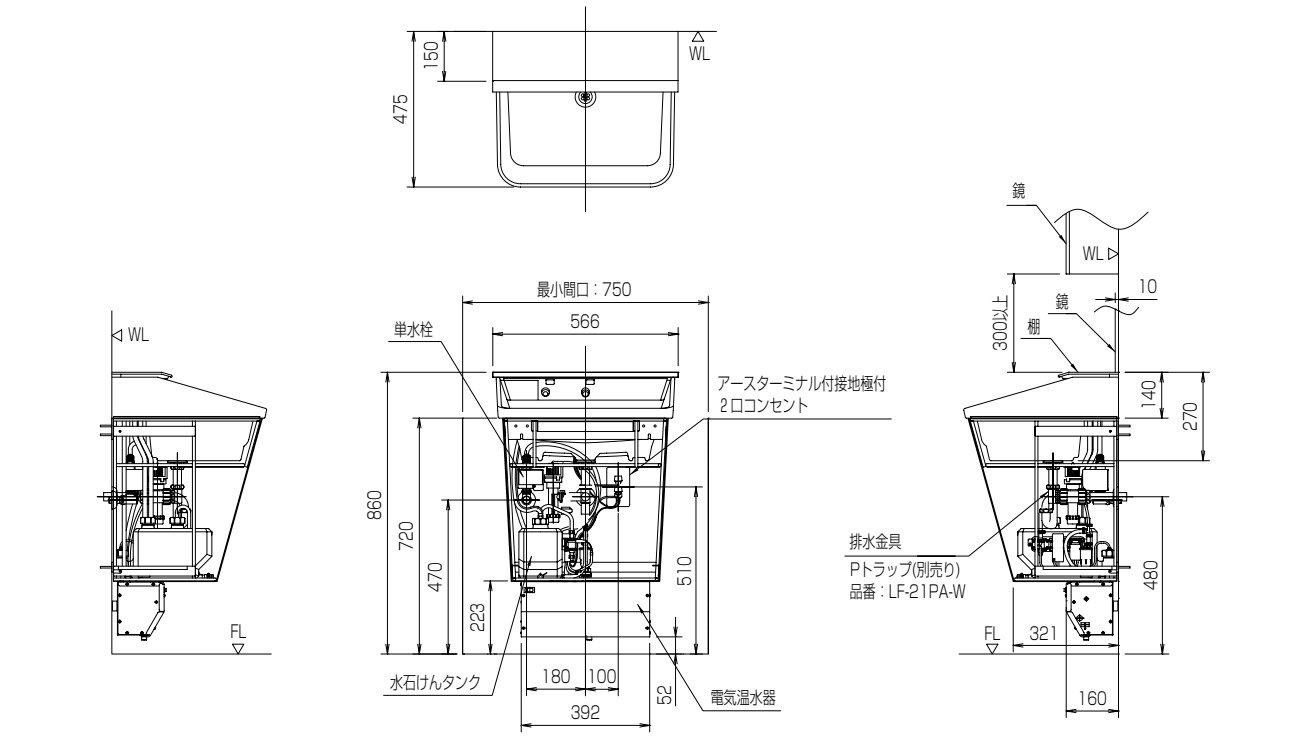
W1 タイプ、A1 タイプ　※ A1 タイプには、電気温水器はありません。

[カウンタータイプ]



※２（　）は A1 タイプ（電気温水器なし）の場合

[壁掛タイプ]

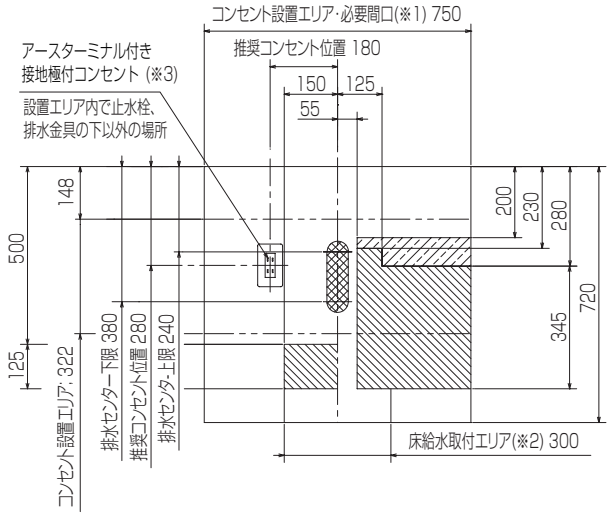


※２（　）は A1 タイプ（電気温水器なし）の場合

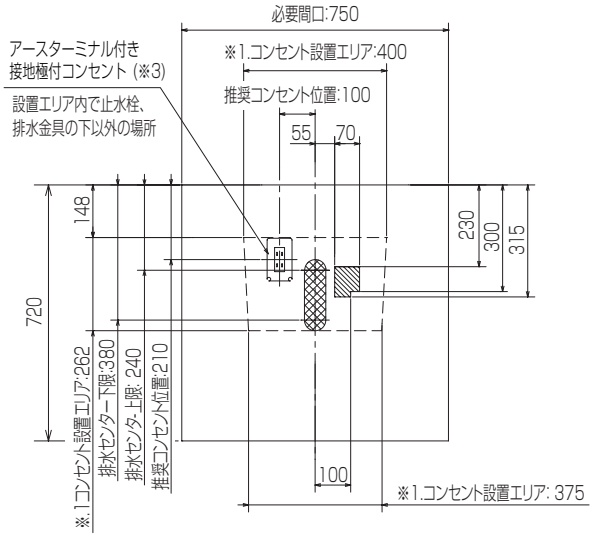
※１　A1 タイプはアースターミナル付接地極付 1 口コンセント

■既設洗面器からの取替えの場合

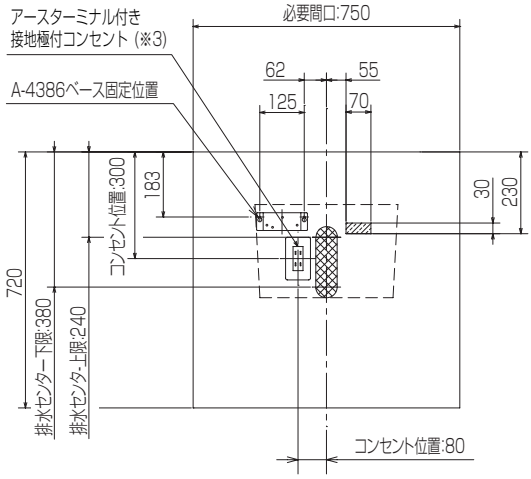
［カウンタータイプの場合］



［壁掛タイプの場合］ ※電気温水器付の場合、壁掛タイプでは取替え対応できません。(※4)



(オートマージュe専用取替キットA-4386を使用する場合)



設置可能な給水位置

オートマージュe専用取替キットA-4386を使用

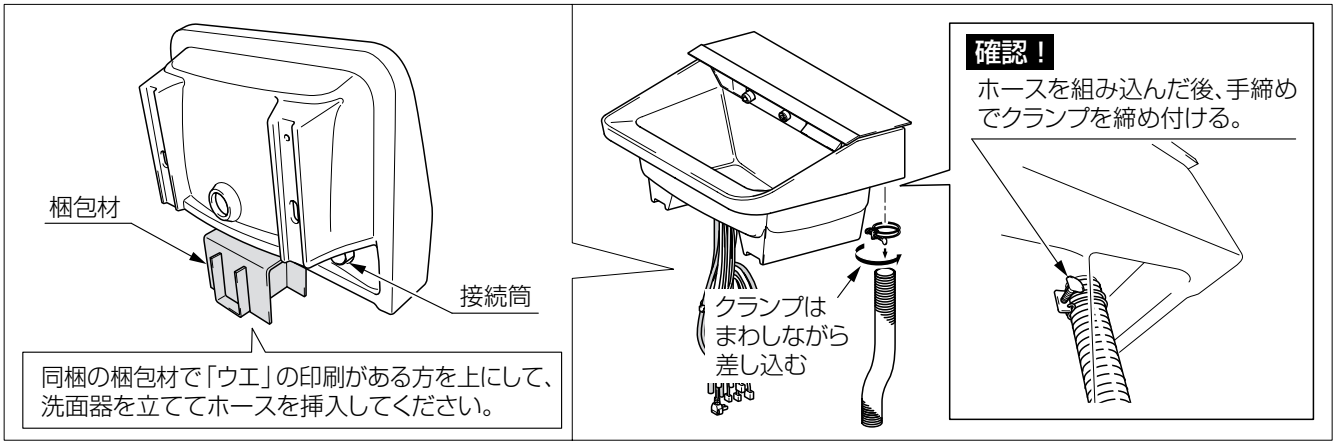
設置可能な排水位置

※1.このエリア内にコンセントを設備願います。
※2.床給水はカウンタータイプのみ。床給水用配管セットA-2202を購入下さい。
※3.乾燥機能付及び電気温水器付の場合は、アースターミナル付接地極付コンセントをご使用ください。
※4.壁掛タイプの場合、フレームが狭いため電気温水器付きの場合は膨張水排水セット等をレイアウトできません。新築用の給排水位置に施工してください。
※床排水はカウンタータイプのみ。排水位置はセンターのみとなります。
※壁下地、躯体等に傷みがなく、本洗面器･壁付フレームを取り付けるに十分な強度があることを確認してください。異常がある場合は別途補修工事が必要になります。

施工方法

1.温風用ホースの取付け（乾燥機仕様の場合）（カウンター・壁掛タイプ共通作業）

①温風用ホースにクランプを取り付けた後、洗面器裏のホース接続筒に差し込みます。
②クランプを図の位置にまわし、クランプを手締めします。
※ホースを引っぱり容易に抜けないことを確認する。



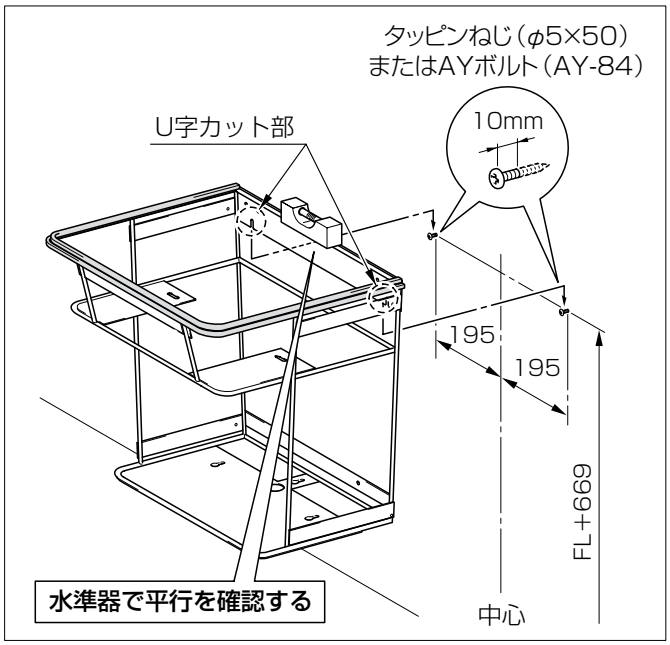
カウンタータイプの場合は、「3.止水栓の取付け」へ進んでください。

2.壁掛フレームの取付け （壁掛タイプのみの作業）

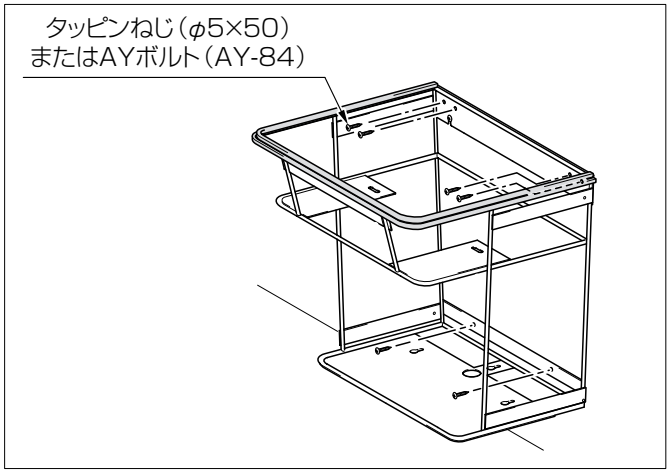
①右図の位置に下表の下穴をあけます。

	取付ねじ、ボルト	下穴寸法	備考
乾式壁の場合	タッピンねじ（φ5×50）	約φ3.5×50	同梱品
湿式壁の場合	AY-84	約φ9×60	別売

②ねじ部が10mmほど残るくらいまで締め付けます。
③フレームのU字カット部をネジに引っ掛け、水準器でフレームの水平を確認し、仮固定します。



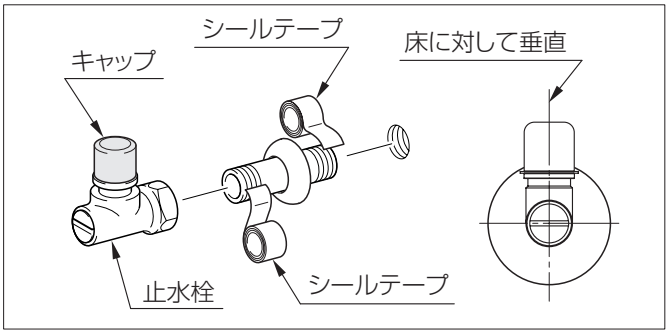
④フレームの取付穴（6ケ所）位置をケガき、①表の下穴をあけます。
⑤フレームを再度取付後、ねじ（8本）で固定します。



施工方法

3.止水栓の取付け　（カウンター・壁掛タイプ共通作業）

取出し位置を確認し、止水栓を取り付けます。
※キャップは機能本体部を接続するまで取り外さないでください。

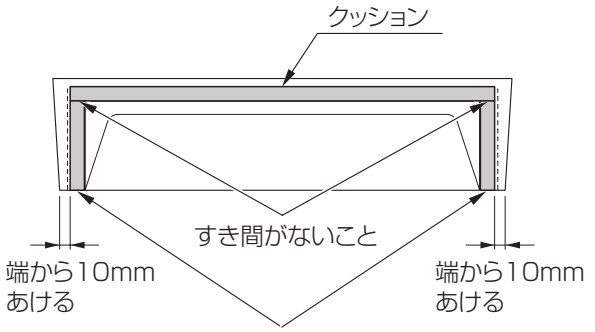


4.排水口部の取付け（排水金具は別売）　（カウンター・壁掛タイプ共通作業）

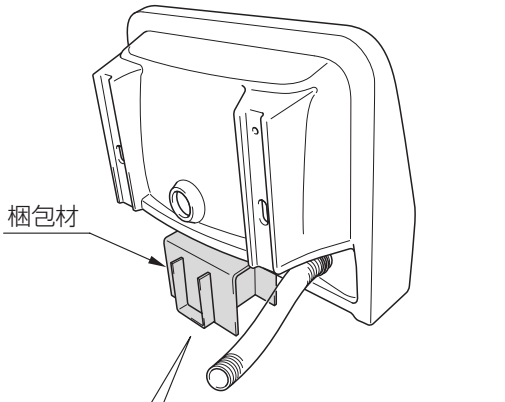
①**洗面器を壁にぴったり取り付ける場合、**洗面器背面クッションを張り付けます。

洗面器背面

- 短いクッションから張り付けます。
- 短いクッションは洗面器背面のRじりに、長いクッションは短いクッションとすき間がないように張り付けます。
  ※カウンター奥行が600以上あり、洗面器の背面を壁に付けない場合は張り付けません。



②排水口部を洗面器に取り付けます。
※目皿穴の向きに注意してください。

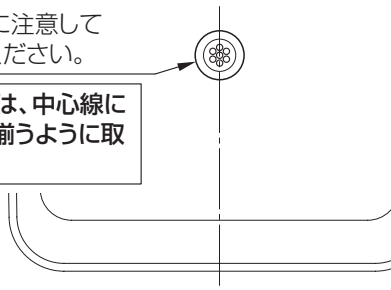


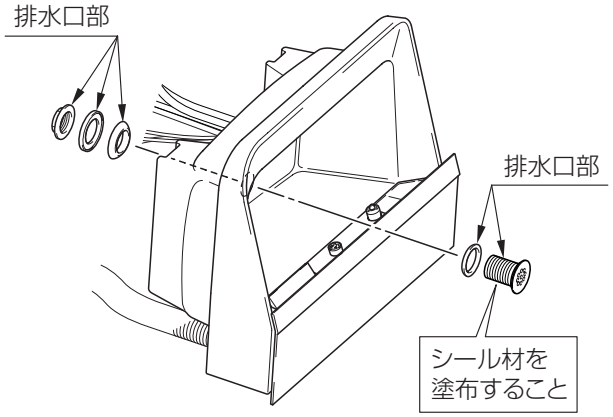
同梱の梱包材で「ウエ」の印刷がある方を上にして、洗面器を立てて作業してください。

確認！

目皿の向きに注意して取り付けてください。

目皿の向きは、中心線に沿って穴が揃うように取り付ける。





⚠注意

ねじ部に少量のシール材を塗布してください。
※塗布がないと、漏水の恐れがありますので、ご注意ください。

指示実行

次ページに続く

施工方法

5.洗面器の取付け　（各タイプを選択参照）

カウンタータイプの場合

カウンターの切込穴に洗面器を取り付けます。

※カウンターを傷つけないために、以下のように作業してください。

①カウンター切込穴両側に、ダンボールをカットし図のようにおきます。

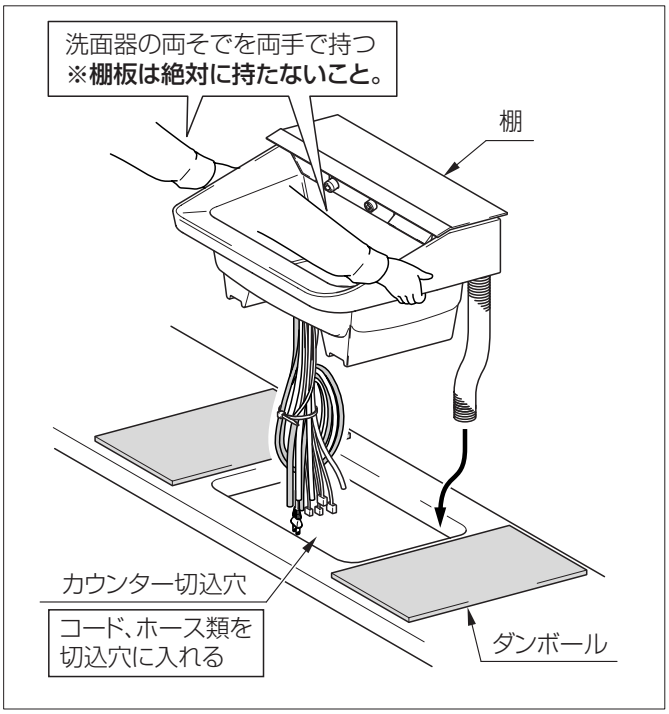
②洗面器の両側を持ち、カウンターの切込穴に洗面器を置いた後、ダンボールを取り除きます。

⚠注意

- 各コード、ホース類を挟み込まないように注意してください。
- 手をカウンターと洗面器のあいだに挟まないように設置してください。
- 陶器部を持って設置してください。棚部は絶対に持たないでください。
  ※破損の恐れがあります。

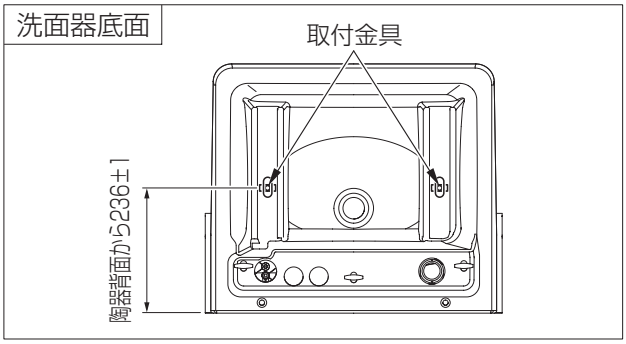
指示実行

③取付後、コード、ホース類をまとめてある結束バンドはカットしてください。



壁掛タイプの場合

①洗面器底面に取付金具を取り付けます。



②フレームの固定ボルト取付穴に合わせて洗面器をフレームに組み付けます。

⚠注意

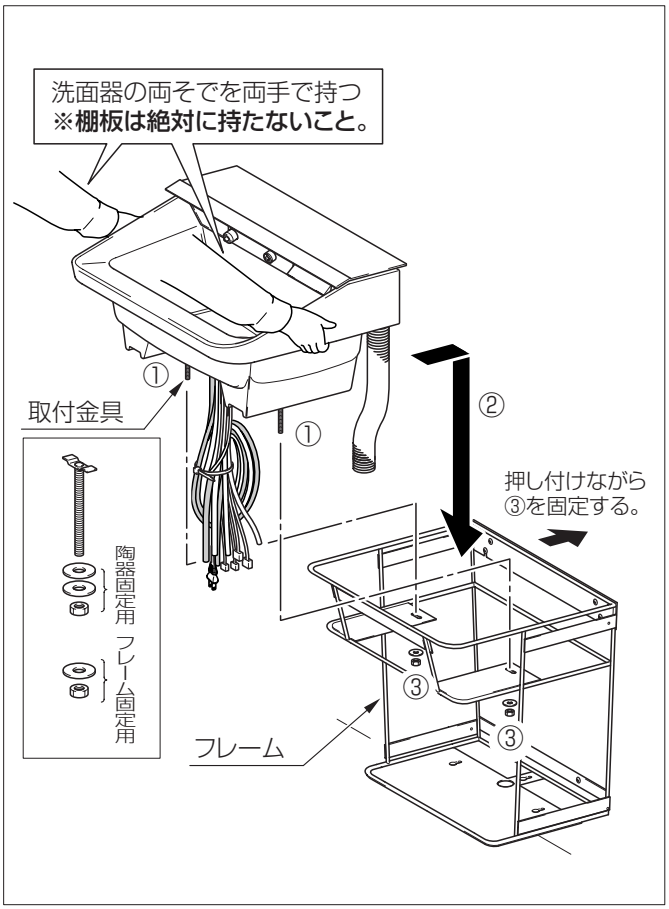
- 各コード、ホース類を挟み込まないように注意してください。
- 手をカウンターと洗面器のあいだに挟まないように設置してください。
- 陶器部を持って設置してください。棚部は絶対に持たないでください。
  ※破損の恐れがあります。

指示実行

③洗面器を壁に押し付けながら、フレームにナットで固定します。

※棚が壁にぴったりとくっついていることを確認してください。

④取付後、コード、ホース類をまとめてある結束バンドはカットしてください。

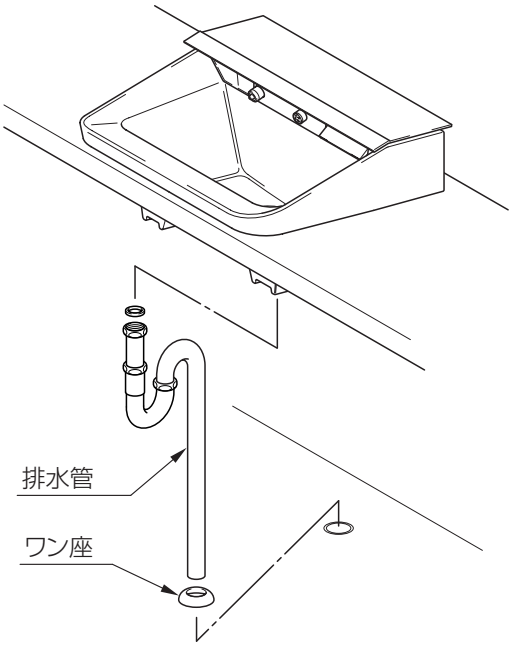


6.排水管の取付け　（カウンター・壁掛タイプ共通作業）

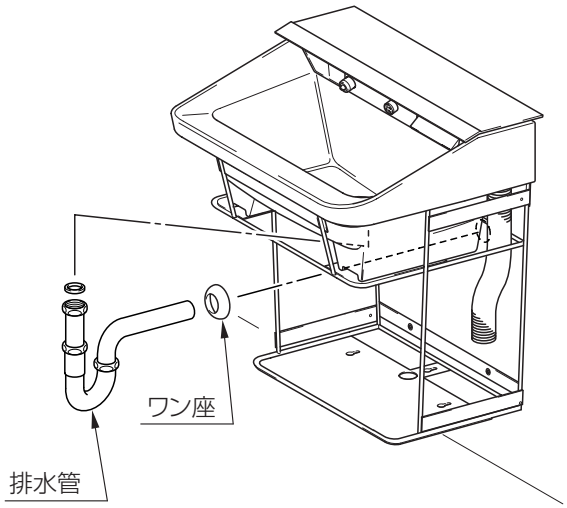
【電気温水器なしタイプの場合】

排水金具内の施工説明書を参照して取り付けます。
排水管の位置は「施工寸法」、「現場仕様図」を参照して取り付けてください。

「床排水仕様の場合」
※カウンタータイプのみ



「壁排水仕様の場合」
※図は壁掛タイプを示す



以降、施工手順はP24「7．電磁弁の取付け」をご参照ください。

【電気温水器付タイプの場合】

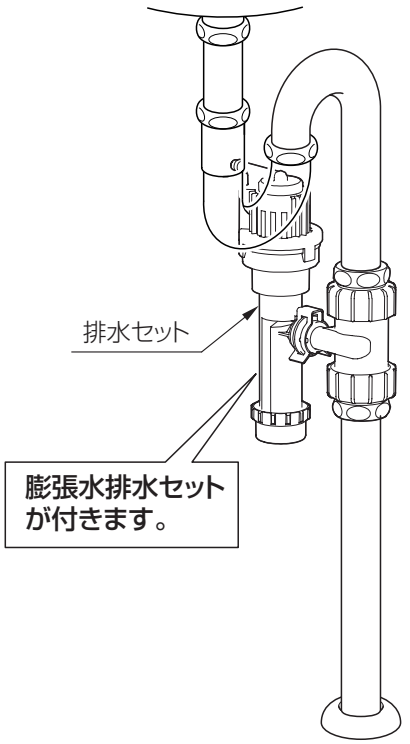
「電気温水器なしタイプとの相違点」

●床排水仕様

排水管への「排水セット：品番；EFH-4-25」の接続。
※電気温水器からの膨張水を排水するため。

施工方法

排水セット内の施工説明書および排水金具内の施工説明書を参照して取り付けます。
排水管の位置は「施工寸法」「現場仕様図」を参照して取り付けてください。

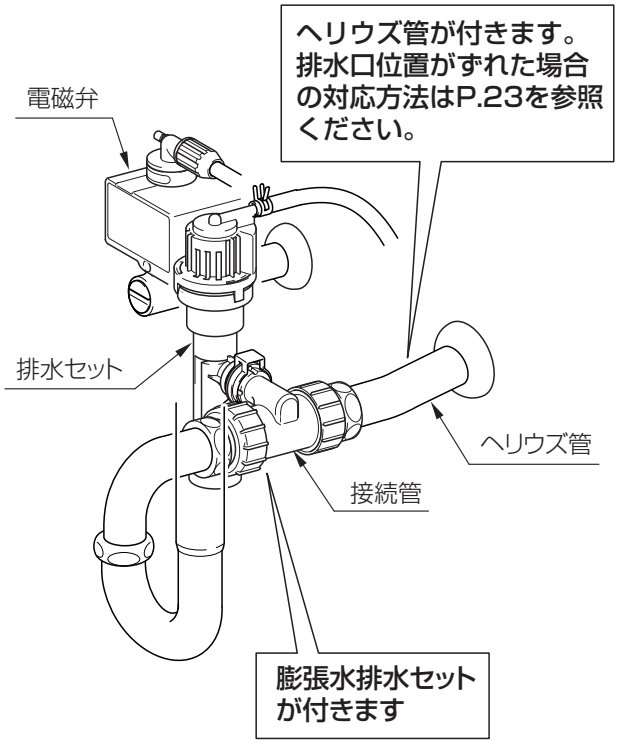


次ページに続く

施工方法

●壁排水仕様

- 排水管への「排水セット：品番；EFH-4-25」の接続。
  ※電気温水器からの膨張水を排水するため。
- 排水金具に「ヘリウズ管」追加。
  ※洗面器排水位置から壁までの距離が短いため、ストレート管では排水セットを接続する余裕がありません。その対応として「ヘリウズ管」を使用します。

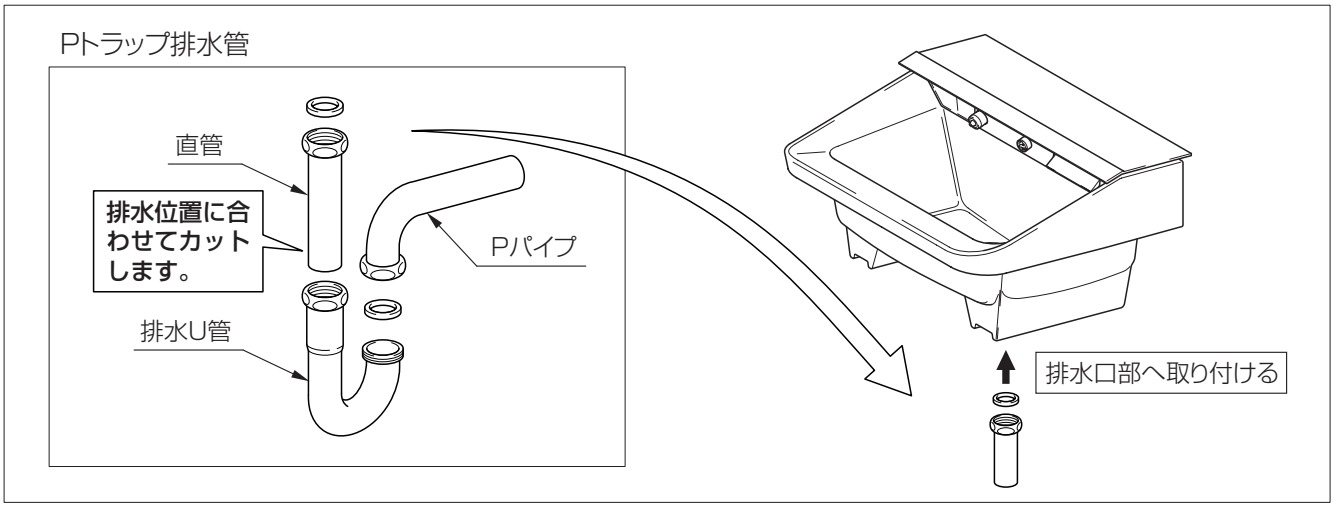


施工手順

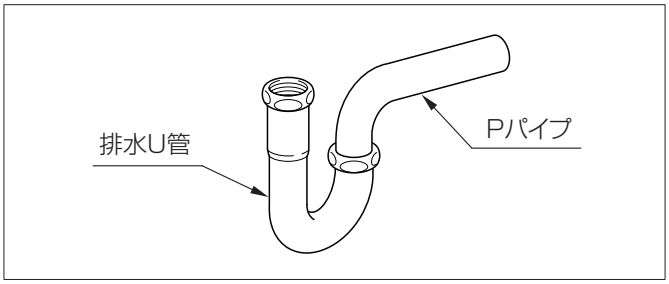
①排水セット、接続管、電磁弁の仮固定。
※直管、ヘリウズ管のカット位置調整のため。
②直管、ヘリウズ管の不要部位カット。
③本組み付け

詳細は以降の施工説明にしたがって施工してください。
排水管の位置は「施工寸法」、「現場仕様図」を参照して行ってください。

①梱包状態のPトラップ排水管を直管、排水U管、Pパイプに分解します。
②洗面器排水口部に直管を取り付けます。

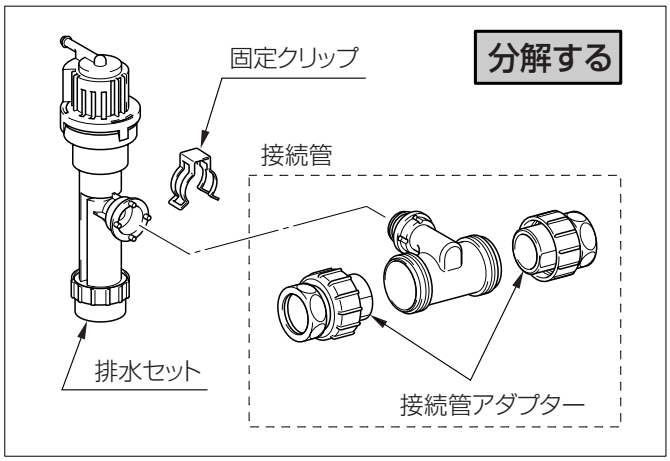


③排水U管とPパイプを仮組みします。

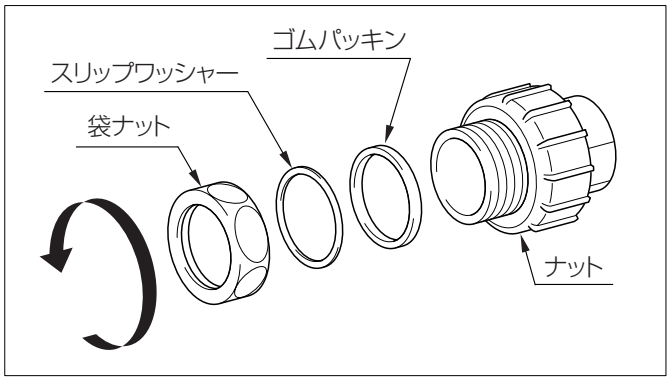


施工方法

④膨張水排水セットの固定クリップを外し、排水セット、固定クリップ、接続管の3つの部品に分解します。



⑤接続管アダプターの袋ナットを外して、スリップワッシャー、ゴムパッキンを外します。

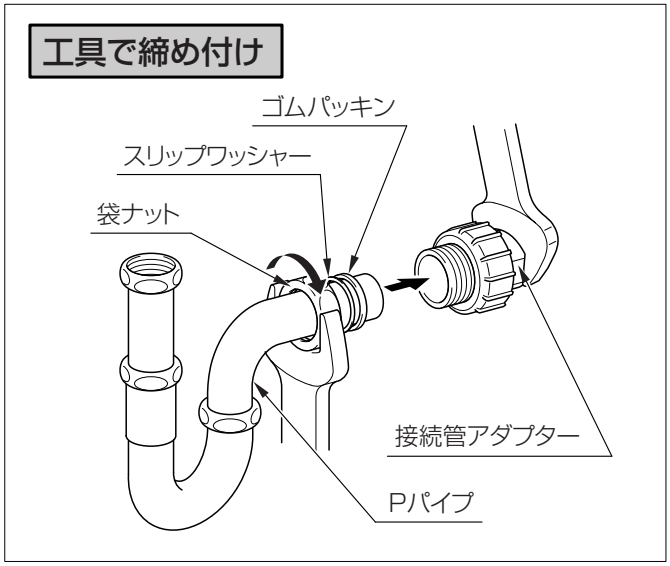


⑥Pパイプの下流側に袋ナット、スリップワッシャー、ゴムパッキンの順に取り付け、接続管アダプターの奥まで差し込み、接続管アダプターの**工具掛部と袋ナットに工具を掛け、しっかりと締め付けます。**

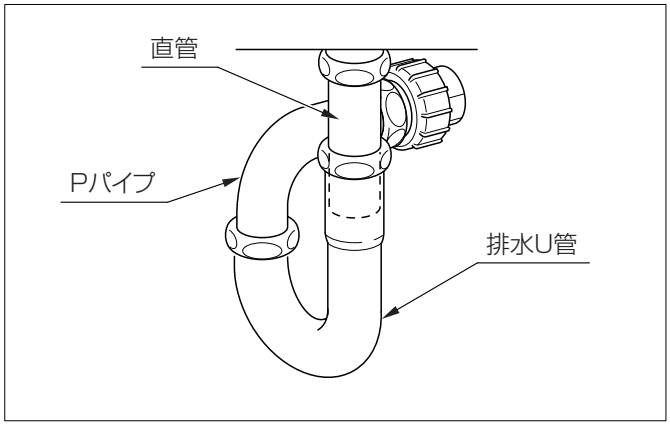
⚠注意

接続管アダプターの金属製袋ナットは必ず工具で締め付けてください。
※漏水の原因となります。

指示実行



⑦排水口部の直管に排水U管とPパイプの組み合わせたものの上流側を差し込み仮締めします。



次ページに続く

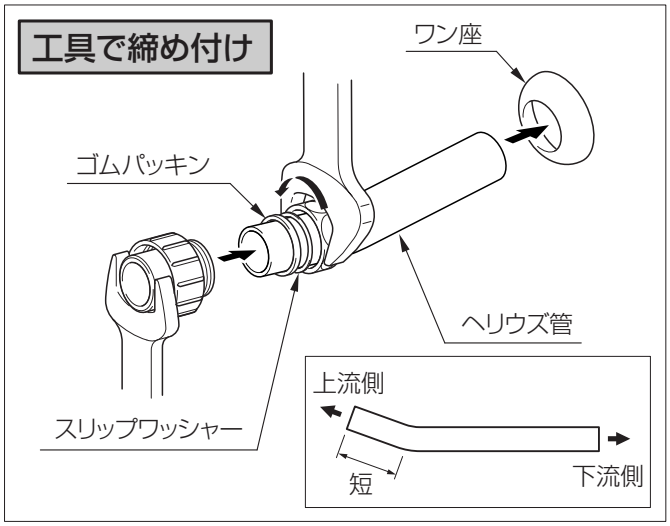
施工方法

⑧ ⑥と同様にヘリウズ管の上流側に（ヘリウズ管は曲折箇所から管の端までの距離が短い方を上流側としてください）接続管アダプターを締め付けます。
⑨下流側にワン座を差し込みます。

⚠注意

接続管アダプターの金属製袋ナットは必ず工具で締め付けてください。
※漏水の原因となります。

指示実行

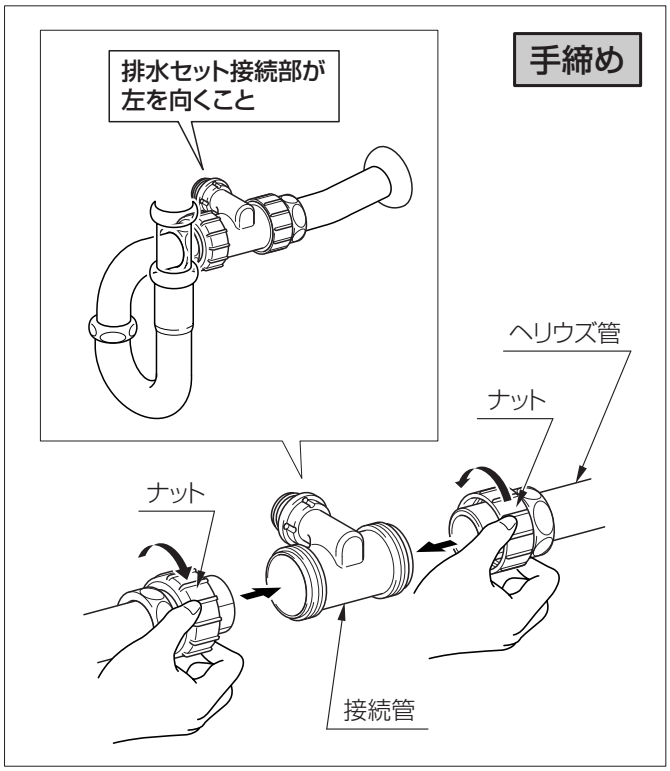


⑩ヘリウズ管の下流側を排水口位置に差し込み、接続管にPパイプ側とヘリウズ管側の接続管アダプターを差し込み、両側のナットを手で締めます。
※排水セット接続部が左を向くようにしてください。
※ヘリウズ管の向きは下図のように施工してください。**逆流の恐れがあります。**

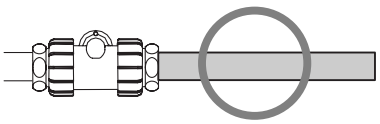
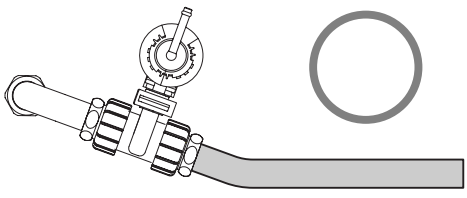
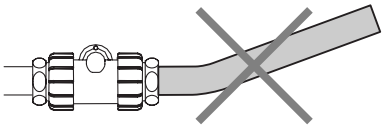
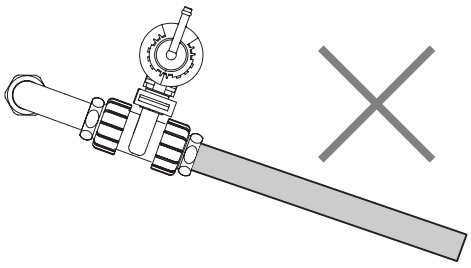
⚠注意

樹脂ナットは工具を使わず、必ず手で締め付けてください。
※ナットの破損、漏水の原因となります。

指示実行



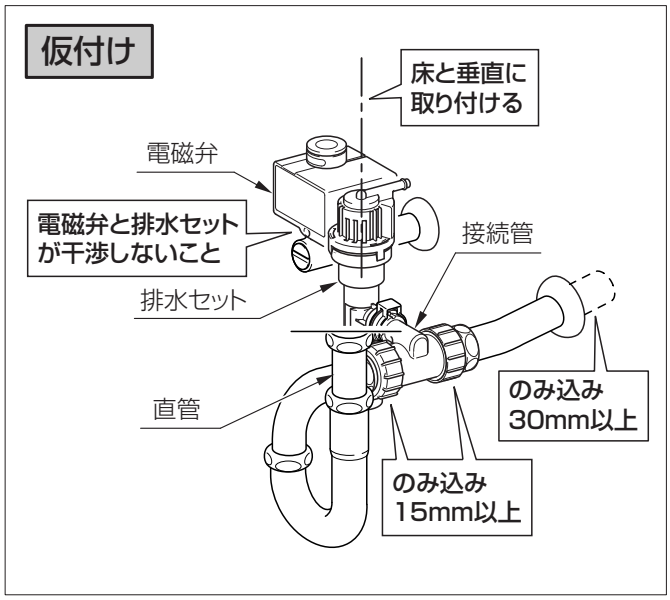
「ヘリウズ管の向き」

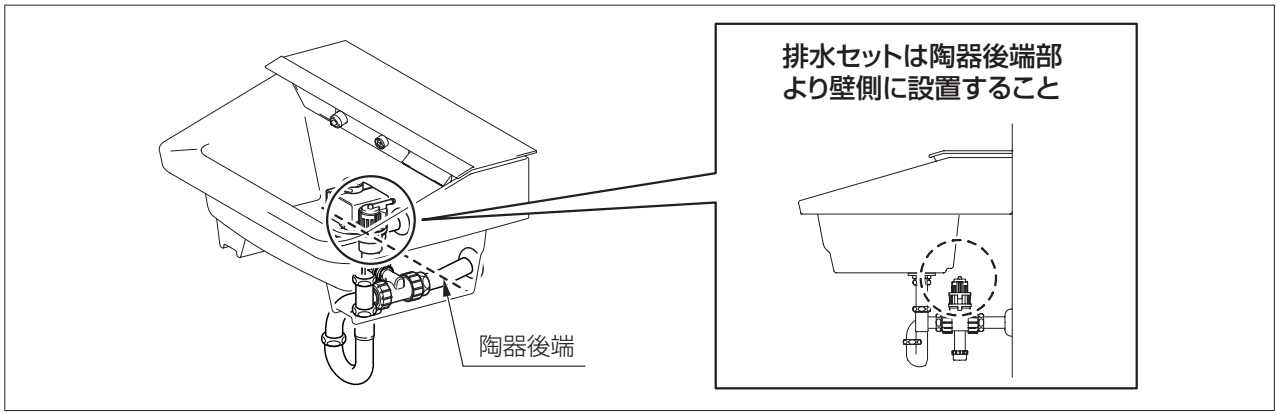
	右横から見た図	上から見た図
正	 ※正しい向き	
誤	 ※間違った向き **逆勾配にしないでください。 ※逆流の恐れがあります**	

施工方法

⑪排水セット及び電磁弁を仮取付けし、排水位置に合わせて各部配管長さを決定します。（カットする部分に印を付けておくと分かりやすいです）
※以下の注意点を必ず守ってください。
- 排水セットは床に垂直になるように設置してください。
- 電磁弁のフロントカバーはビス止めしないでください。

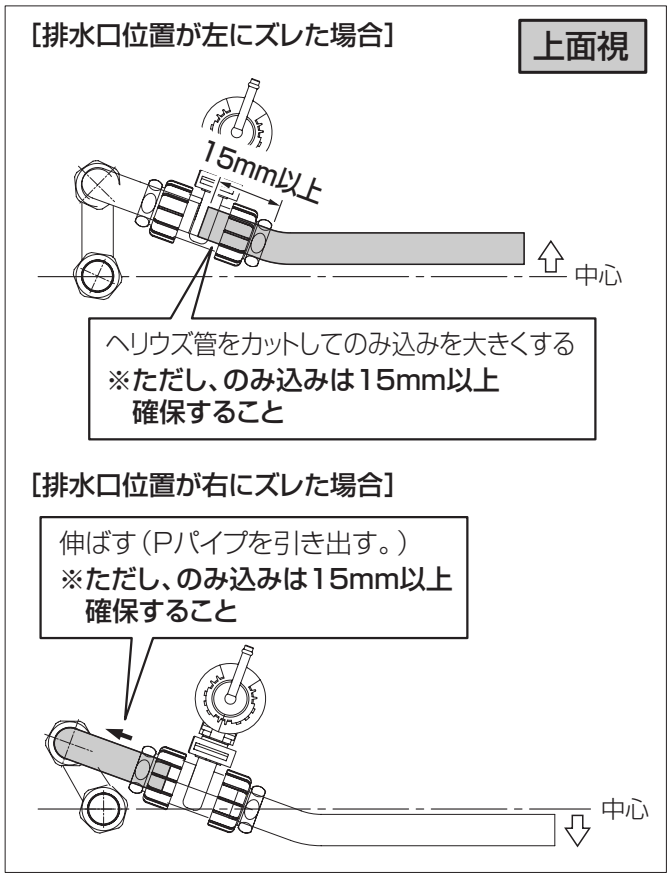
※注意点
- ヘリウズ管の壁側ののみ込みは30mm以上確保してください。
- 接続管の各排水管とのみ込みは両側とも15mm以上確保してください。
- 排水セットは陶器後端部より壁側へ設置してください。**（陶器後端部より前では水石けんタンクと干渉します）**
- 排水セットが電磁弁に干渉しないようにしてください。





排水口位置ズレ対応方法

排水口位置のズレに対しては右図のように調節を行います。
※上下にズレた場合は排水口部の直管で調節してください。



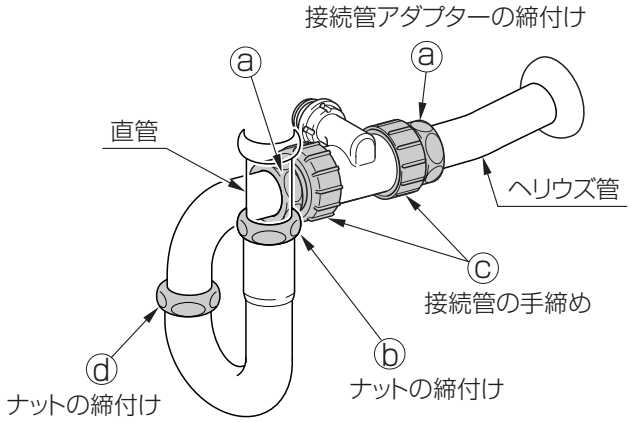
次ページに続く

⑫位置が決まったら、一度排水管、排水セット、電磁弁を外しヘリウズ管・直管の不必要部位をカットします。

⑬⑤～⑩にしたがい、正式に組み付けます。
ⓐ接続管アダプターの締め付け。（工具）
ⓑナットの締め付け。（工具）
ⓒ接続管の手締め。
ⓓナットの締め付け。（工具）

※電磁弁等が施工しやすいように、排水セットは一旦外して後から取り付けます。

ⓐ～ⓓの順に締め付けてください。



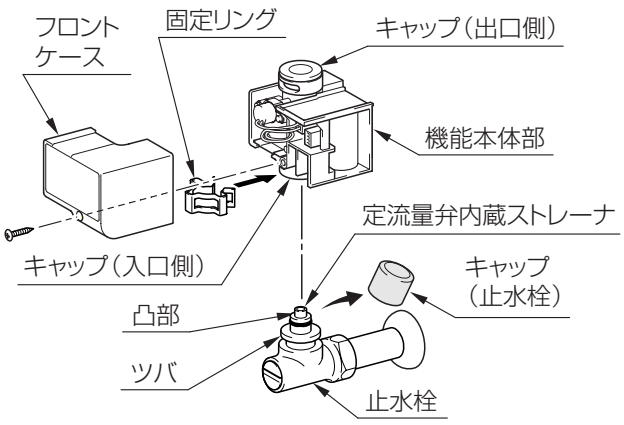
7.電磁弁の取付け　（カウンター・壁掛タイプ共通作業）

①機能本体部のフロントケースを外します。
②止水栓のキャップと電磁弁入口側のキャップを取り外します。
③電磁弁を必ず正面を向くように止水栓のツバと電磁弁のツバが接するまで差し込みます。
④付属の固定リングを接続部（ツバ部）にはめ込みます。
※電磁弁の出口側のキャップは接続エルボを接続するまで取り外さないでください。
※止水栓に電磁弁を取り付けた際、機能上、回転方向に若干のガタがとってあります。

⚠警告

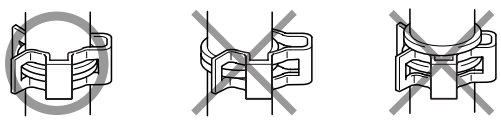
- 止水栓の凸部が電磁弁の入口内部の溝に一致しないと最後まで差し込むことができません。無理に差し込まないでください。
- 最後まで差し込むと、回り止めが付いていますので回すことはできません。無理に回さないでください。
- Oリングに傷を付けたり、ゴミかみをさせないように注意してください。
  ※漏水の原因となります。
- 確実に接続されていることを確認してください。
  ※過って取り付けると漏水の原因となります。

指示実行



⚠警告

●固定リングは正しく取り付けてください。
※漏水する恐れがあります。

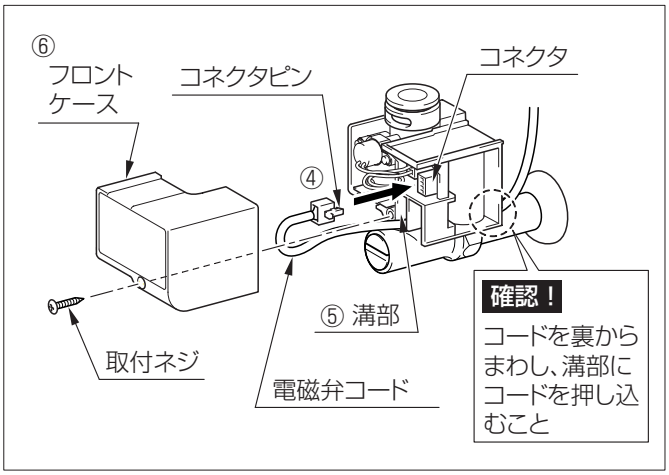


④洗面器からの電磁弁用コードを電磁弁の裏側から回し、電磁弁用コード側のコネクタのピンを右側にして、電磁弁側のコネクタに差し込みます。
※コネクタを外すときは、コネクタのピンを指で押さえながら抜いてください。
⑤電磁弁コードを溝部に沿ってはめ込みます。
⑥フロントケースをはめ込み、プラスドライバーで付属の取付ネジで固定します。
※取付ネジは専用部品です。必ず付属のものをお使いください。

⚠注意

コードをケースの側面で挟み込まないように注意してください。

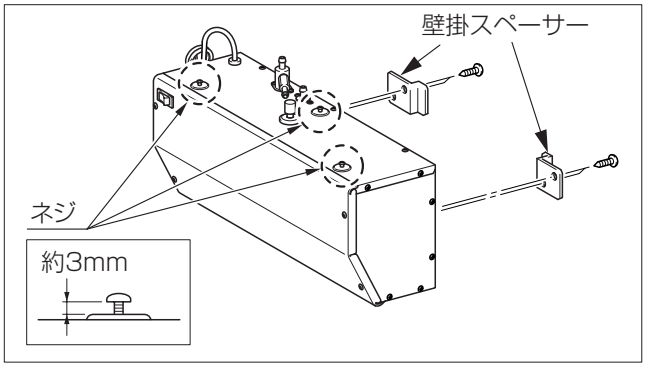
指示実行



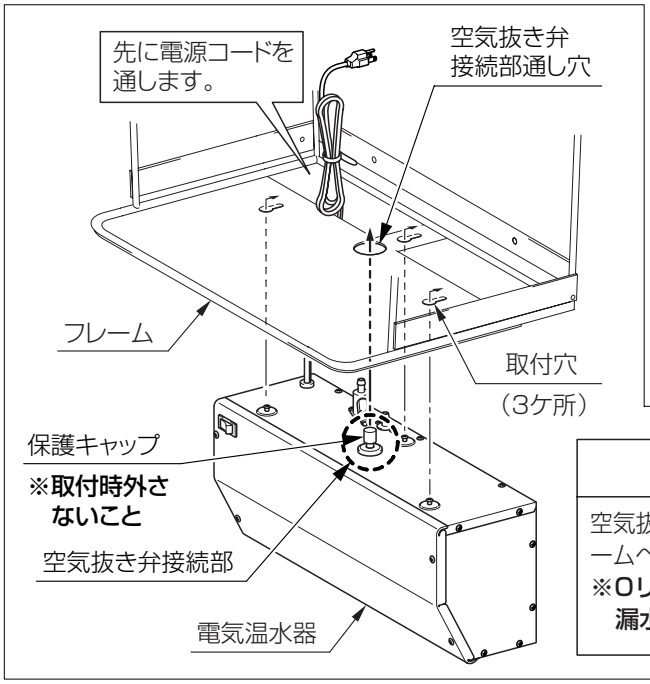
8.電気温水器の取付け　（電気温水器付タイプのみ　カウンター・壁掛タイプ共通作業）

【壁掛タイプの場合】

①電気温水器背面の下穴に合わせて、壁掛スペーサーを取り付けます。
②梱包状態の電気温水器の上部3ケ所のネジのピッチを約3mm残してゆるめます。



③ネジおよび空気抜き弁接続部を壁掛フレーム底板のそれぞれの穴に下から差し込み、フレーム底板に電気温水器を引っ掛けます。電気温水器を壁につき当ててねじを締めます。



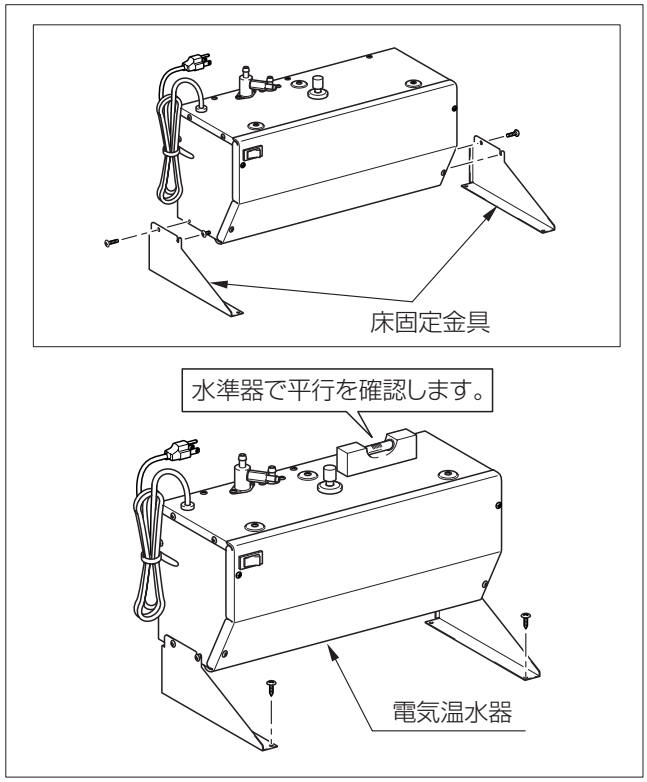
⚠警告

空気抜き弁接続部の保護キャップは壁掛フレームへの取付前には外さないでください。
※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

指示実行

【カウンタータイプの場合】

①電気温水器左右側面の下部各2ケ所のネジを利用して、左右床固定金具を取り付けます。
※下図を参照して、床固定金具の向きに注意してください。
②施工図面等を参照し、水平を確認して、キャビネット内床に電気温水器を固定します。

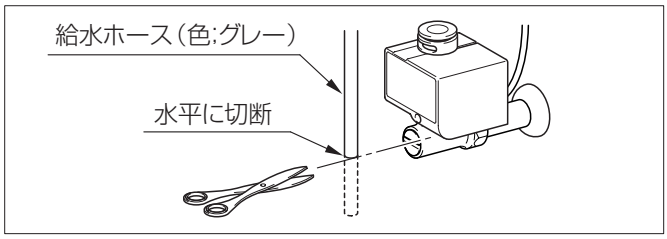


次ページに続く

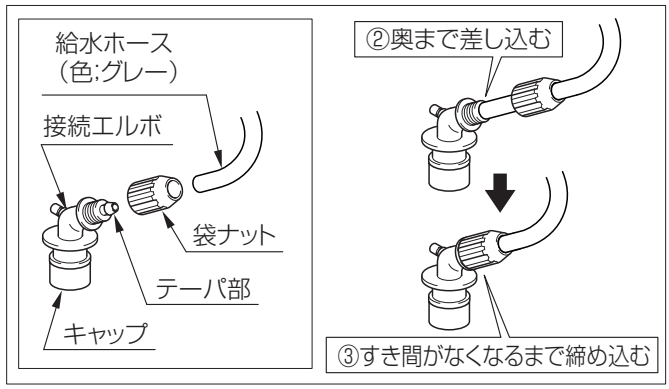
9.給水ホースの接続　（カウンター・壁掛タイプ共通作業）

【電気温水器なしタイプの場合】

①給水ホース（色；グレー）が折れ曲がらないように必要な長さを確認し、切断します。



②給水ホース（色；グレー）に袋ナットを通した後、接続エルボのテーパ部を差し込みます。
※接続エルボのキャップは電磁弁に接続するまで取り外さないでください。
③袋ナットを接続エルボに手締めで締め付けます。

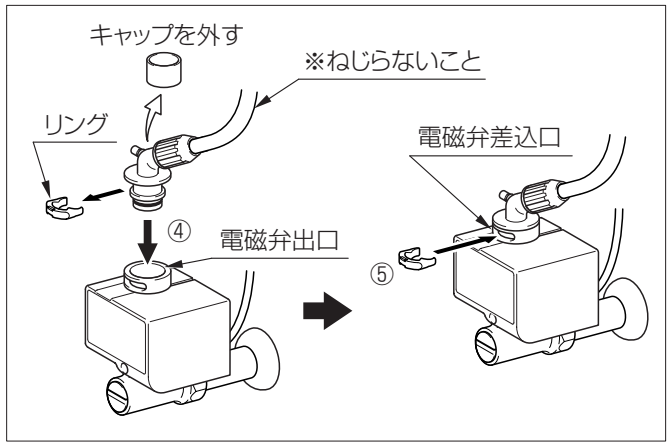


④電磁弁の出口側のキャップ、接続エルボのキャップ、リングを取り外し、電磁弁の出口に接続エルボを差し込みます。
※給水ホースをねじらないよう注意してください。

⚠警告

Oリングに傷を付けたり、ゴミかみをさせないように注意してください。
※漏水の原因となります。
指示実行

⑤リングを電磁弁の差込口に差し込みます。
※確実に接続されていることを確認してください。
※接続エルボを外すときは、小型のマイナスドライバでリングを抜き取ってください。



⚠警告

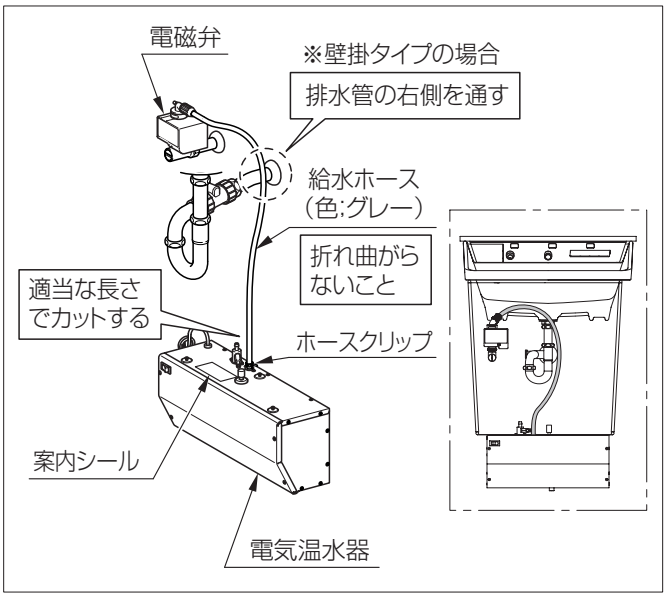
しっかりと確実にはめ込んでください。
※漏水の原因となります。
指示実行

【電気温水器付タイプの場合】

※電磁弁に接続する給水ホースは電気温水器に同封されているものを用意し、【電気温水器なしタイプの場合】の手順②以降をご参照ください。

※以下手順は、壁掛タイプの場合の作業を示しますが、カウンタータイプの場合はホースの取り回しはキャビネット内に合わせて適宜行い、それ以外は壁掛タイプと同様に行ってください。

①給水ホース（色；グレー）片側に、電磁弁接続エルボを取り付け、ホースを電磁弁に接続します。
※【電気温水器なしタイプ】の手順②～⑤を参照して行ってください。
②電磁弁からの給水ホース（色；グレー）を電気温水器に届くところでカットします。
③電気温水器上部の案内シールや給水ホースに付いているタグに従って右側の給水口に接続し、クリップでしっかりと固定します。



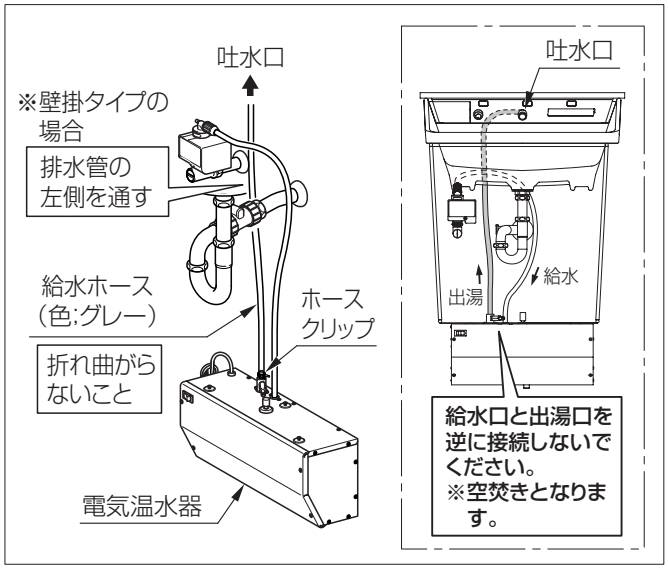
⚠警告

給水ホースが折れ曲がらないように注意してください。
※漏水の原因となります。
指示実行

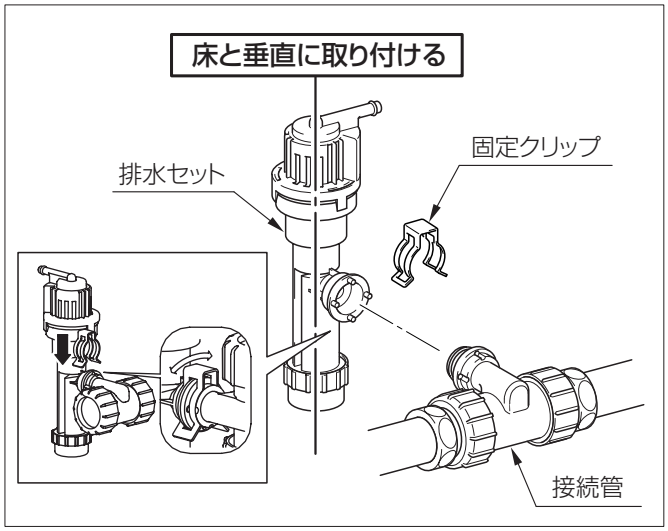
施工方法

④洗面器吐水口部からの給水ホース（色；グレー）を排水管の左を通して、電気温水器の左側の出湯口に届くところでカットします。
⑤電気温水器上部の案内に従って左側の出湯口に接続し、クリップでしっかりと固定します。
※給水ホース（色；グレー）が折れ曲がらないように注意してください。

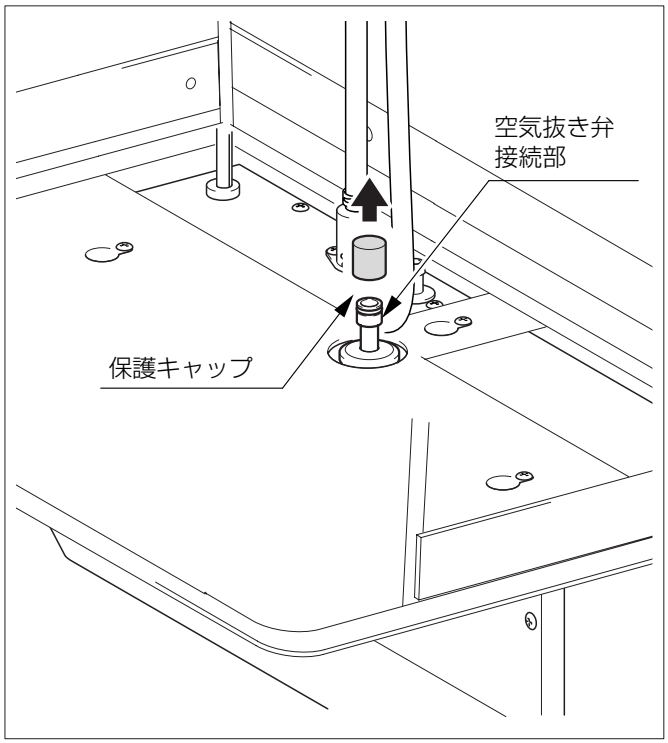
※給水口と出湯口を逆に接続するとタンク内の空気が抜けません。この状態で電源スイッチを入れると空焚きとなり安全装置が作動しますので逆配管していないかもう一度ご確認ください。



⑥接続管の排水セット接続部に、排水セットを床と垂直になるように取り付けます。
※取付後、固定クリップが回転するかを確認してください。



⑦電気温水器の空気抜き弁接続部の保護キャップを外します。



次ページに続く

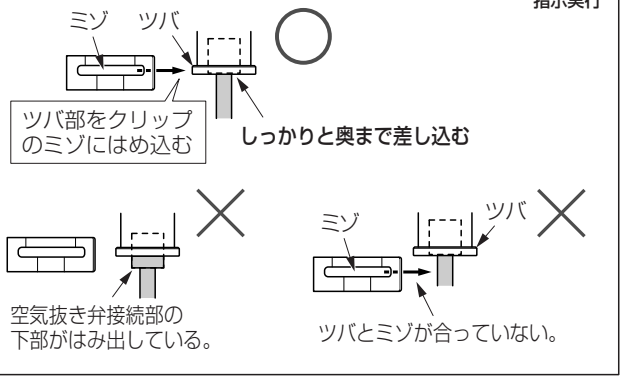
施工方法

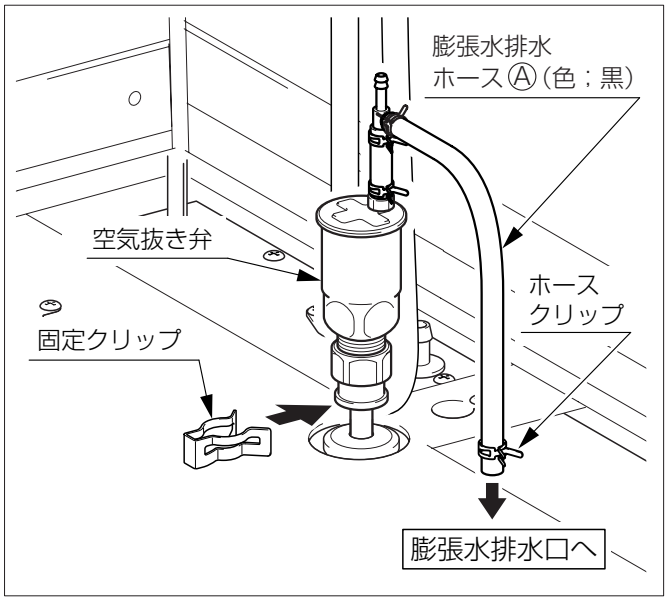
⑧同梱の空気抜き弁を空気抜き弁接続部に差し込み、固定クリップをはめ込みます。

⚠警告

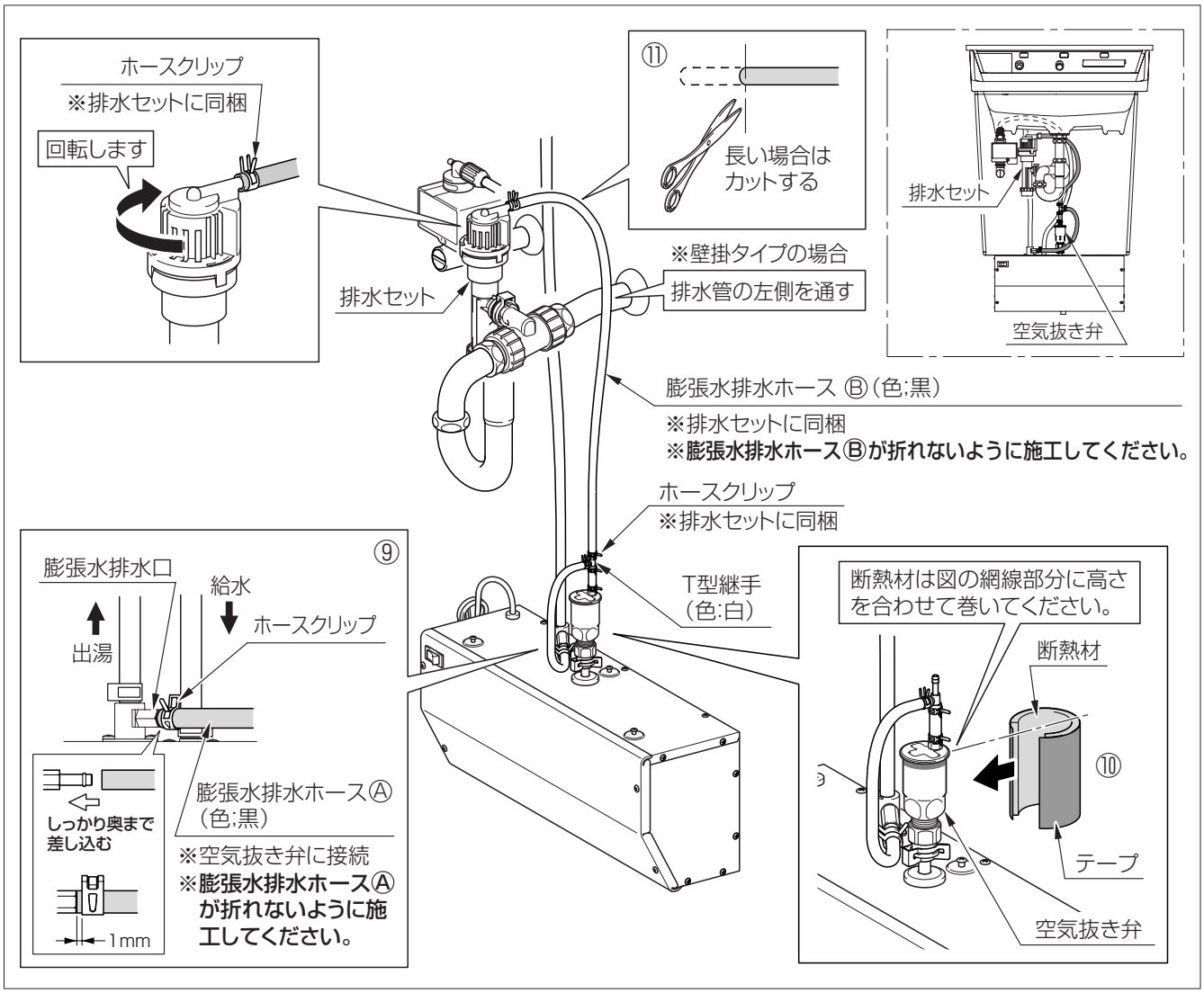
固定クリップは正しく取り付けてください。
※漏水する恐れがあります。

指示実行





⑨空気抜き弁に付いている膨張水排水ホース Ⓐ を膨張水排水口に奥まで差し込んで、ホースクリップで固定します。
⑩同梱の断熱材を空気抜き弁に巻き、テープで外れないように固定します。
⑪排水セットに同梱している膨張水排水ホース Ⓑ の長さを調節し、排水セットとＴ型継手を接続し、ホースクリップで固定します。



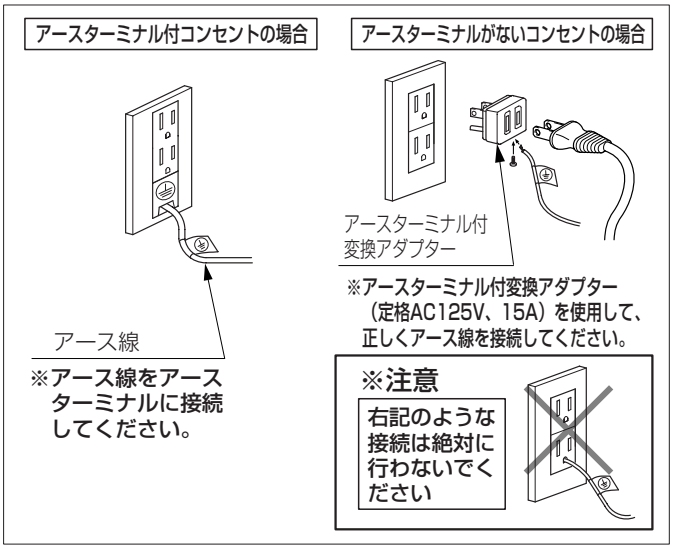
10.アース線の接続　（カウンター・壁掛タイプ共通作業）

ジェットボウル本体のアース線をアースターミナルに接続してください。
※電源プラグはコンセントに接続しないでください。
P.32■調節・試運転の項で接続します。

⚠警告

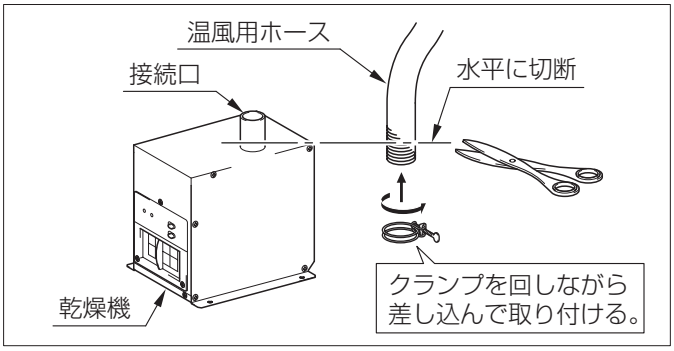
確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※接続しなかったり、不適切な接続では感電・火災の原因となります。

アース接続



11.乾燥機の接続（乾燥機仕様の場合のみ）　（カウンター・壁掛タイプ共通作業）

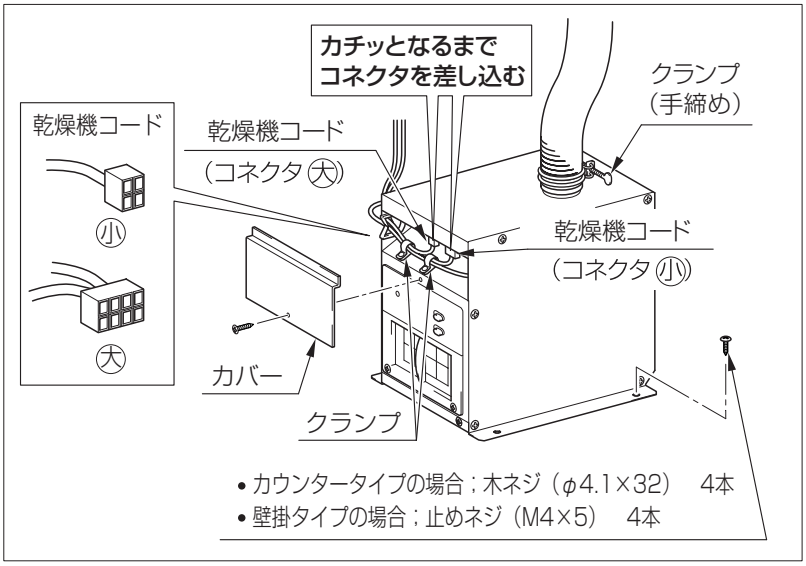
①施工寸法位置に乾燥機を置きます。
②下側クランプを一旦取り外し、温風用ホースの必要な長さを現物合わせで確認し切断します。
※接続口がホース内に収まる位置で切断すること。
※ホースに余分なたるみがないこと。

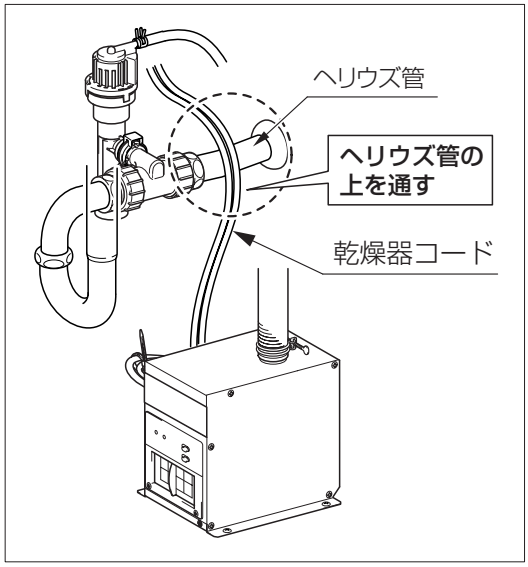


③温風用ホースにクランプを取り付けて、乾燥機に接続しクランプを手で締めて固定します。
※容易にホースが抜けないか手で引っぱり確認すること。
④カバーを外し、洗面器からの乾燥機コード（コネクタ 大 ）、（コネクタ 小 ）を乾燥機に接続し、コードをクランプに挟み込みます。
⑤カバーを戻します。
⑥乾燥機をフレームにねじで固定します。

ポイント

電気温水器付きの場合、乾燥機コードは下右図のようにヘリウズ管の上を通してください。

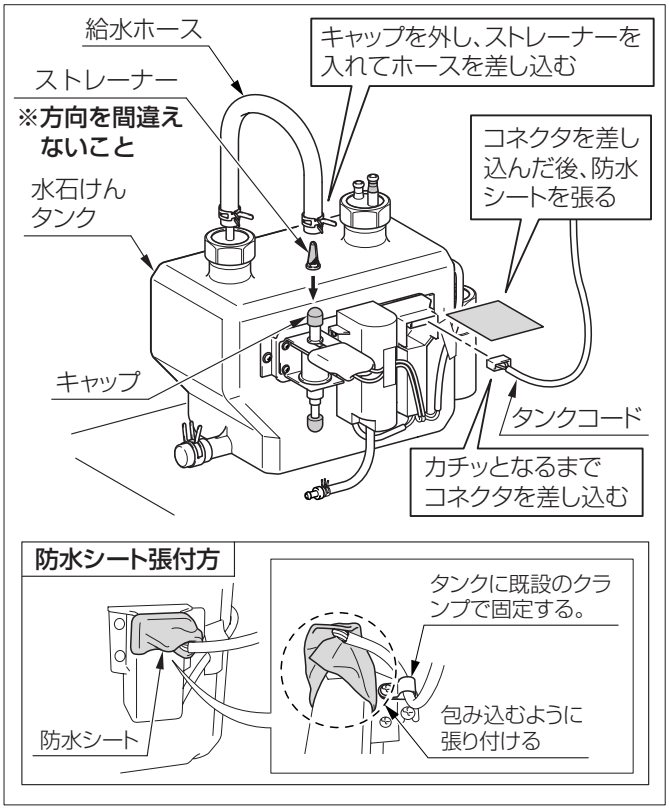




次ページに続く

12.水石けんタンクの接続（水石けん仕様の場合のみ）（カウンター・壁掛タイプ共通作業）

①タンクコードを右図のように差し込み、その後コの字型のコネクタカバー部を包み込むように防水シートを張り付けます。
②右図のようにキャップを外して、給水ホースを差し込みます。



③施工寸法位置に水石けんタンクを置きます。
④上面補給ホースを組み付けます。
※各ホースは必要な長さを現物合わせで確認し、切断します。
※カウンター、壁掛タイプとも水石けんタンクを設定位置に置いた状態で切断してください。

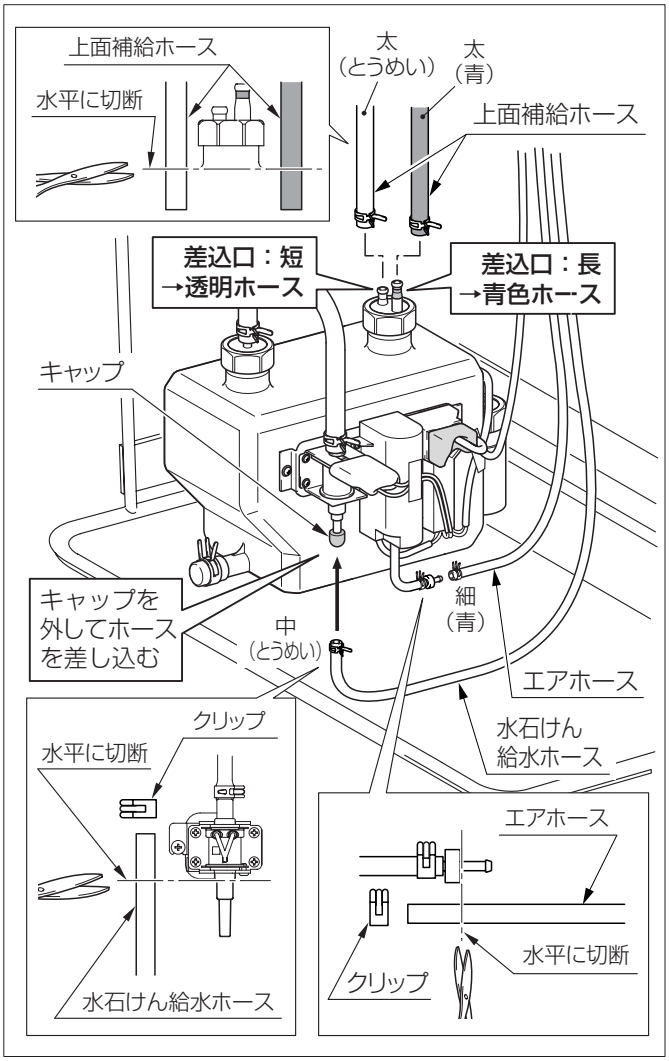
⚠注意

ホースをたるませないよう切断してください。
※補給不良の原因となります。

ポイント

差し込み口の長い方が青色、短い方が透明のホースを差し込んでください。

⑤洗面器からの水石けん給水ホース、エアホースを図のように接続し、クリップでしっかりと固定します。
※各ホースは必要な長さを現物合わせで確認し、切断します。

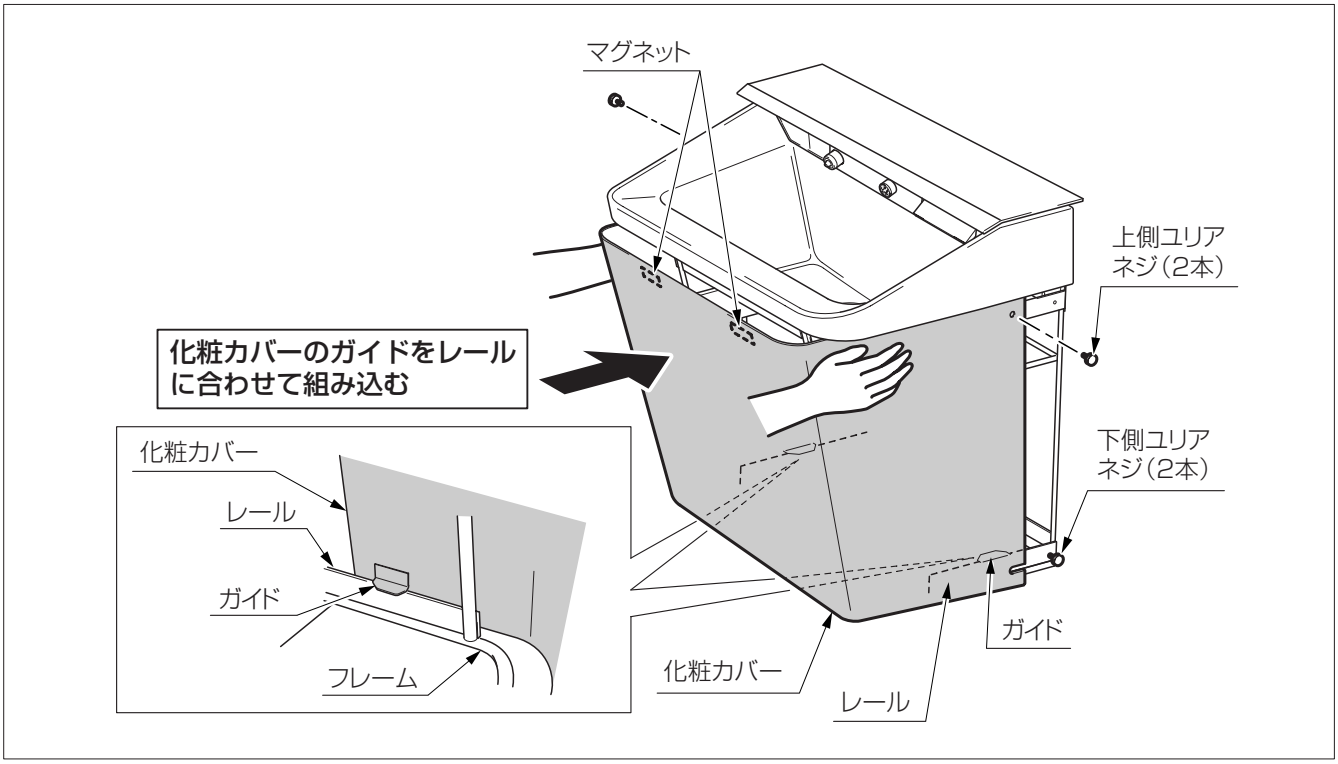


施工方法

次作業に移る前に、■調節・試運転（P32～36）を先に行ってください。

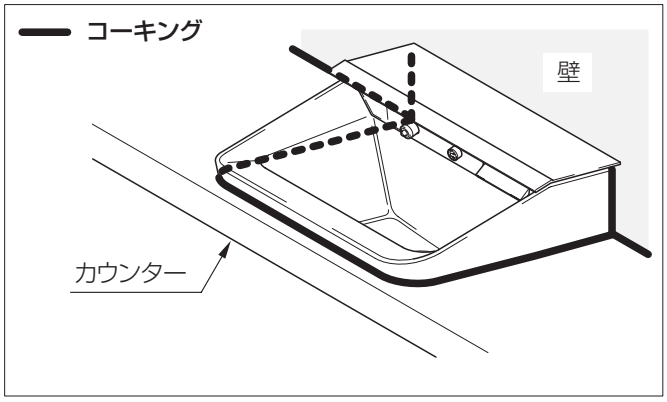
13.化粧カバーの組付け　（壁掛タイプのみの作業）

①下側2本のユリアネジをフレームに半分程度取り付けます。
②化粧カバー裏側のガイドをフレームのレールにのせます。
③化粧カバーのマグネットがフレームにくっつくまで水平に押し込み、下側2本のユリアネジに引っ掛けます。
④**化粧カバーと洗面器のすき間をうめるように上に持ち上げながら、**ユリアネジ（4本）にて化粧カバーを固定します。



14.カウンターと洗面器のコーキング　（カウンタータイプのみの作業）

①洗面器を壁にしっかりと押し付けます。
②右図の位置（3辺）のカウンターと洗面器のすき間をポリメジ材でコーキングします。
※背面壁から50mmあけて設置する場合は、4辺コーキングします。

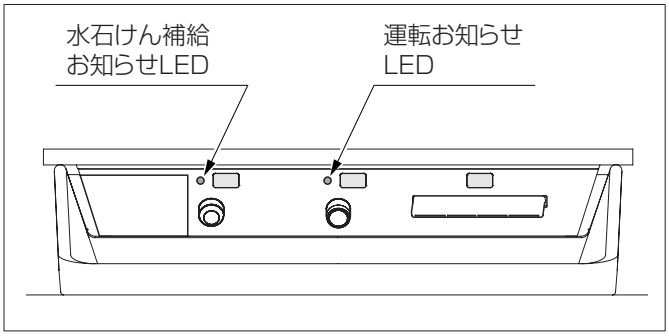


施工方法（調節・試運転）

■調節・試運転

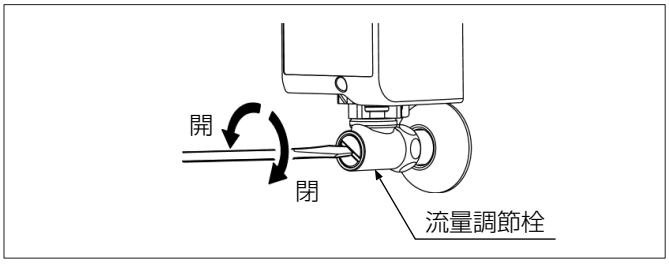
1.動作確認

①電源プラグをコンセントに接続します。
※電気温水器の電源プラグは「3.吐水確認」でコンセントに差し込んでください。
②吐水口上の運転お知らせLEDが緑色に点灯していることを確認してください。
③ムース機能付きの場合、ムース吐水口上の水石けん補給お知らせLEDが赤色に点滅していることを確認してください。
※点滅は水石けん補給をお知らせするものです。水石けんを補給するとLEDは消灯します。



2.流量の調節

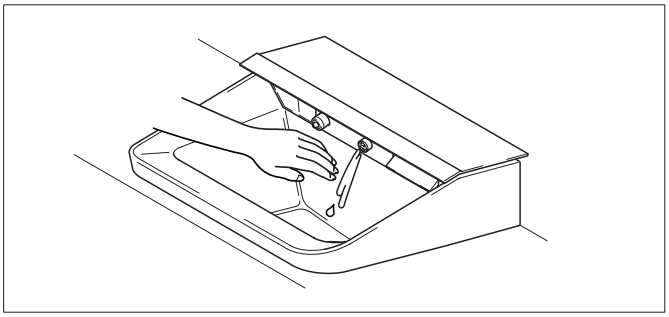
流量調節栓（止水栓）を全開にします。
※節水のため定流量弁を装着していますので、一定以上の流量（5L/分以上）は出ません。



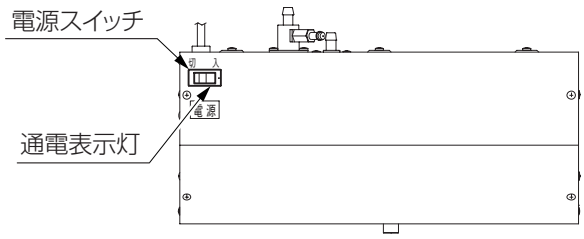
3.吐水確認

①吐水口の下に手を差し出すと自動的に水が出て、手を引っ込めると自動的に止まることを確認します。

②電気温水器付の場合、吐水口の下に手をかざすと、しばらくの間空気を巻き込みながら吐水口から水が出てきます。電気温水器内の空気が抜け、吐水口から安定して水が出るまで流してください。機器内が満水になるまでに2分程度かかります。
1、電気温水器のプラグをコンセントに差し込みます。
2、電気温水器の電源スイッチを「入」にしてください。
（このとき通電表示灯が点灯します）
※水温が15℃の場合、電源スイッチを「入」にしてから沸き上がるまでに約30分かかります。
3、タンク内の水が沸き上がると自動温度調節器が働き、ヒーターへの通電が止まります。これですぐにお湯が出る状態になります。
※このとき通電表示灯は消灯します。通電表示灯が消灯しても異常ではありません。
4、給湯を開始してタンク内の湯温が下がると再びヒーターに通電されます。
※通電表示灯が再点灯します。



【電気温水器付の場合】

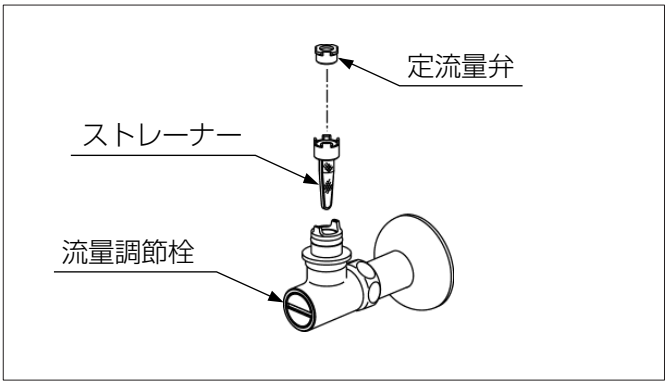


⚠警告

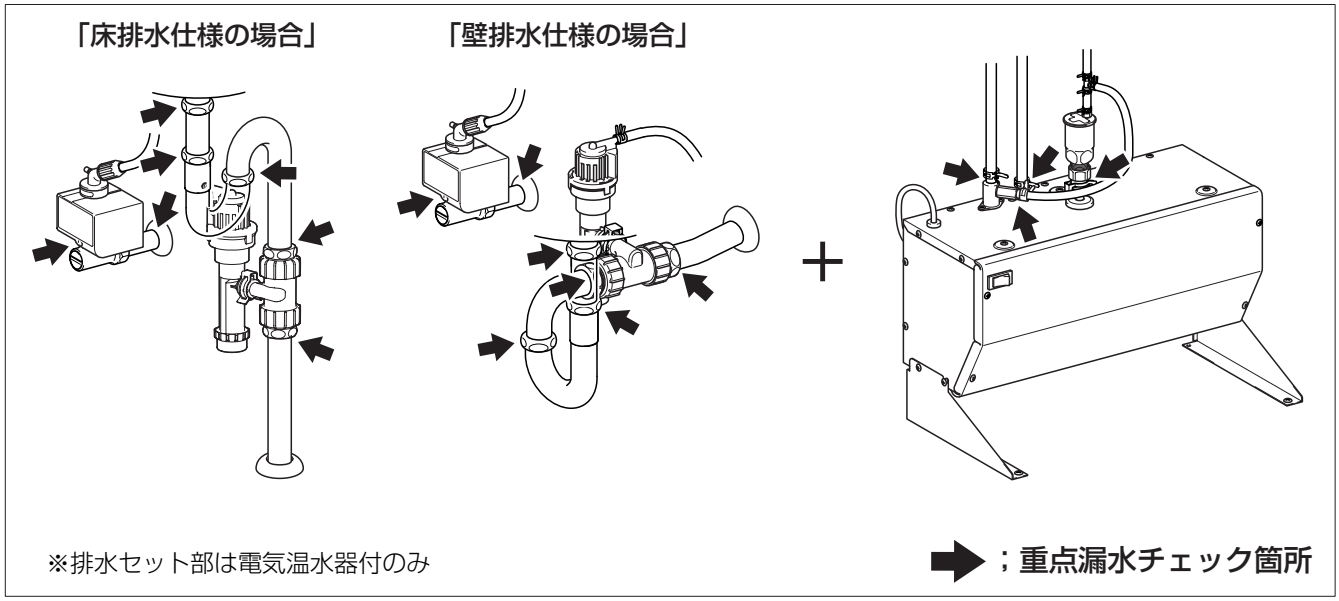
●200Vには接続しないでください。 ●必ずアースを接続してください。 ●アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等にしたがって、必ず「法的有資格者（電気工事士）」によるD種接地工事（100Ω以下）を行ってください。 **※故障や漏電時に感電の恐れがあります。** 禁止	●内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。 ●内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用補修部品と交換してください。 **※感電や火災の原因となります。** 指示実行
接地極のないコンセントに接続しないでください。 接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。 **※故障や漏電時に感電・火災の恐れがあります。** 指示実行	

施工方法（調節・試運転）

③流量調節栓を閉めてストレーナーの掃除をした後、吐水量の調節をします。
- フィルターがつまると吐水量が少なくなり、十分な機能が発揮できなくなります。
  器具取付後は、必ずフィルターを掃除してください。
  またお客さまにも時々掃除していただくようにご指導ください。
- 低圧の現場で、流量が不足する場合は定流量弁を外して、流量調節栓（止水栓）にて流量の調節を行ってください。
- ストレーナーは必ず装着してください。



④各接続部からの漏水がないことを確認してください。（重点チェック箇所は、下図参照）



※排水セット部は電気温水器付のみ

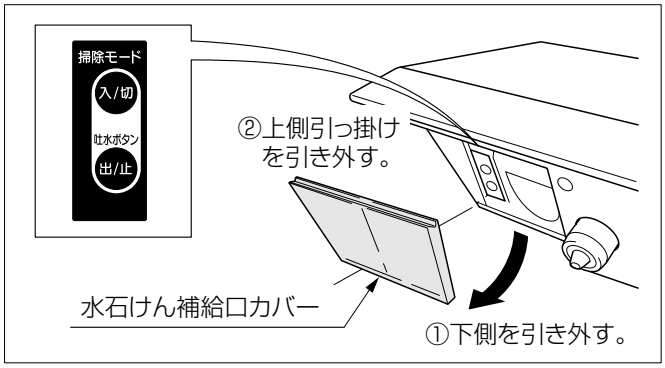
➡；重点漏水チェック箇所

次ページに続く

施工方法（調節・試運転）

4.お掃除モードの動作確認

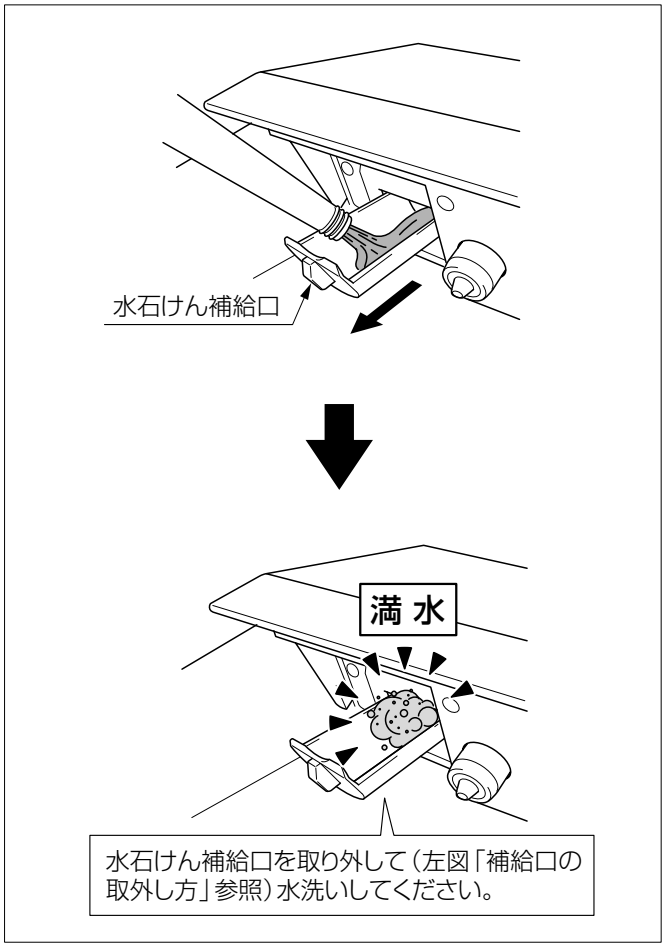
①水石けん補給口カバーを図のように外してください。
②掃除モードボタンを1秒以上押してください。
※3分間機能停止するお掃除モードに入ります。掃除モード中はすべてのセンサーが機能しません。
掃除モード中は吐水口横のLEDが緑色に点滅します。3分後にLEDが点灯し、自動的に通常動作に戻ります。
3分以内に通常動作に戻したい場合は、もう一度掃除モードボタンを1秒以上押してください。



5.ムース状石けんの吐出確認（水石けん仕様の場合）

①水石けん補給口カバーを上の図のように外してください。

②水石けんを補給します。
・水石けん補給口を図のように引き出します。
・水石けんを図のように補給します。
ペットボトルや市販の補給タンクを使用すると便利です。水石けんの容量は約4Lです。水石けん補給口から泡が大量に出てきたら満水のお知らせです。すぐに注入をやめてください。



注意

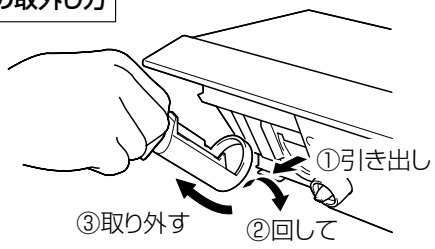
1）水石けんの補給量が少なく、LEDが点灯している場合には水石けんは出ませんので、LEDが消灯するまで水石けんを補給してください。

※下表の指定水石けん以外は使用しないでください。つまりの原因になります。

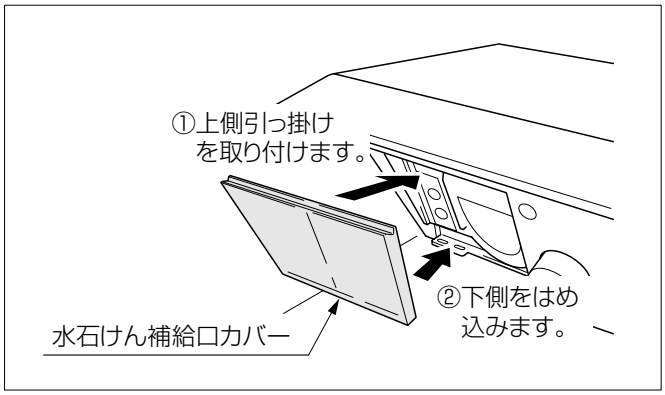
メーカー名	商　品　名	推奨希釈倍率
アルボース	アルボース	7～10倍
	アルボース　G-N	7～10倍
サラヤ	シャボネット　ユーム	7～10倍
	シャボネット　ゴールド	7倍
ジョンソン	ハンドソープ　プラス	7倍
	ハンドソープ　プラスC	7倍

2）満水の状態で水石けんを補給した場合、満水でも泡が出ない場合があります。その場合、水石けんの流れがわるく、水石けん補給口に溜まった状態になります。そのときは満水ですので、補給口を外して、溜まった水石けんを捨ててください。

補給口の取外し方



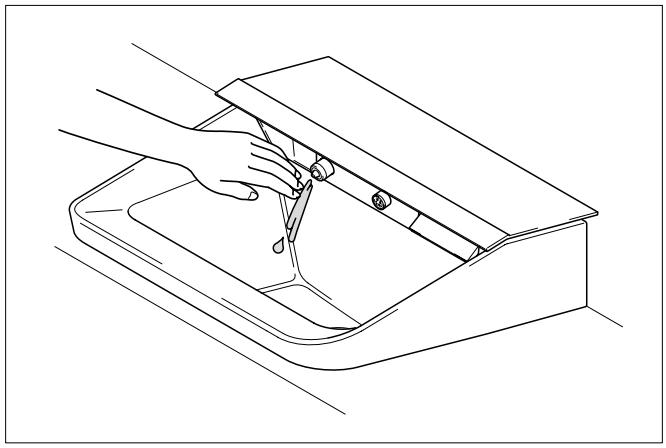
③水石けん補給口カバーを取り付けます。



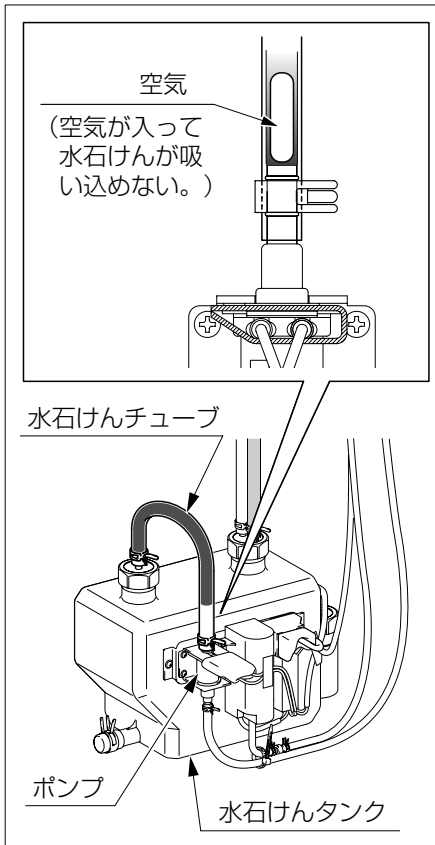
施工後、長期間使用しない場合は、水石けんの代わりに水を500cc程度入れ、確認を行ってください。確認後、水は捨ててください。

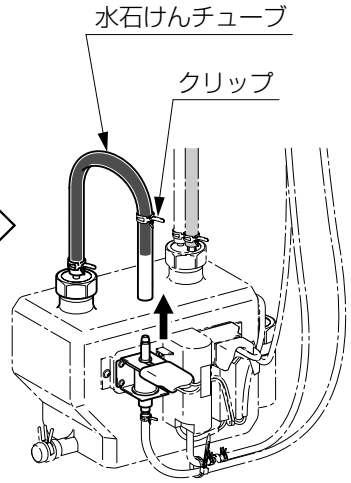
施工方法（調節・試運転）

④水石けんが吐出するまでセンサーに20回程度手をかざしてください。
⑤水石けん用吐出口の前に手を近づけると自動的にムース状石けんが吐出して、約1.0秒後に止まることを確認してください。

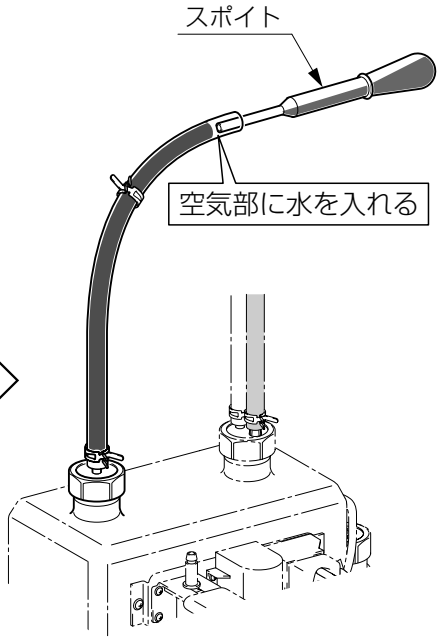


※水石けんが吐出しない場合、チューブに大量の空気がたまり、ポンプが水石けんを吸い込めない場合があります。
呼び水をいれてください。





●クリップを外して水石けんチューブを外します。



●空気部にスポイト等で水を入れ、再度チューブをポンプに取り付けます。
※クリップでしっかりと固定してください。

次ページに続く

施工方法（調節・試運転）

6.温風吹出しの吐出確認（乾燥機仕様の場合）

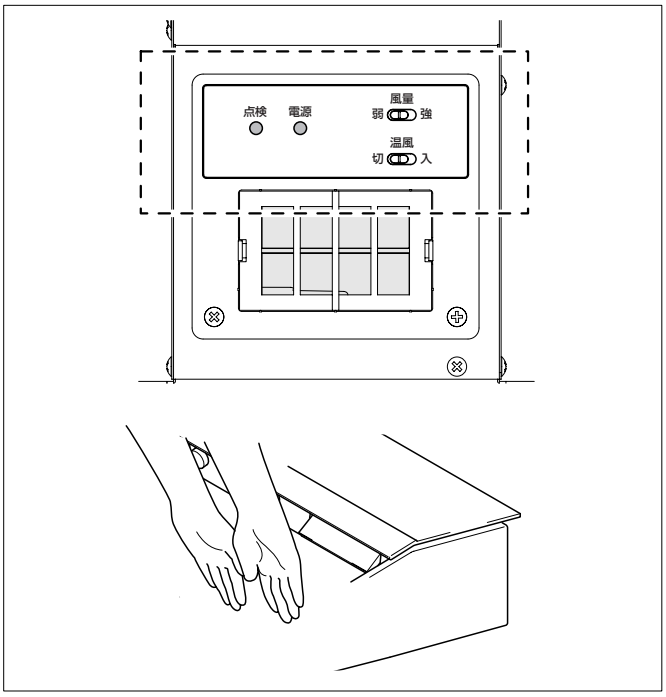
①乾燥器本体のLEDを確認してください。

- 電源 ‥‥‥‥ 点灯
- 点検 ‥‥‥‥ 消灯

②温風吹出口の前に手を差し出すと自動的に温風が出て、手を引っ込めると自動的に停止することを確認してください。

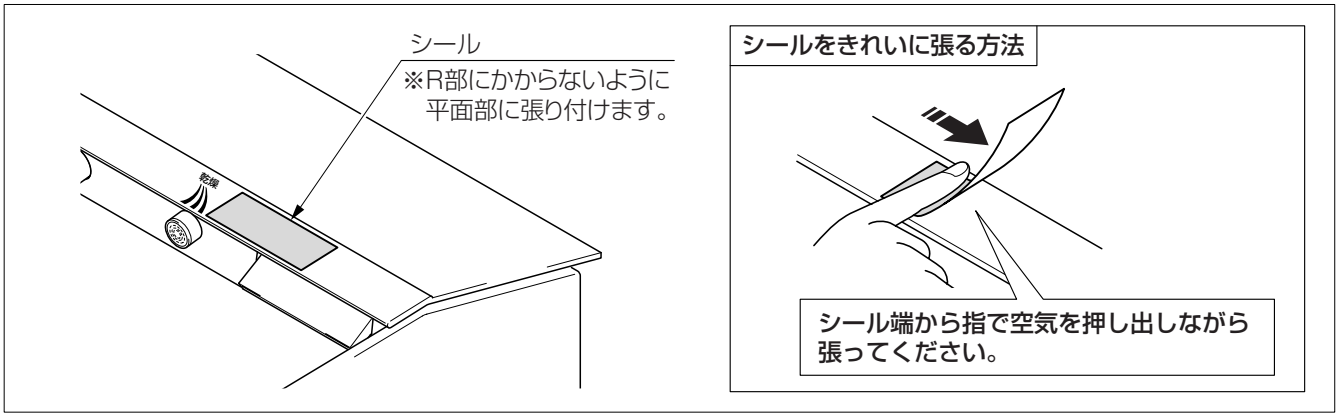
③風量切替スイッチとヒーター切替スイッチで必要に応じて運転モードを切り替えてください。

※切替操作は運転が完全に停止してから行ってください。



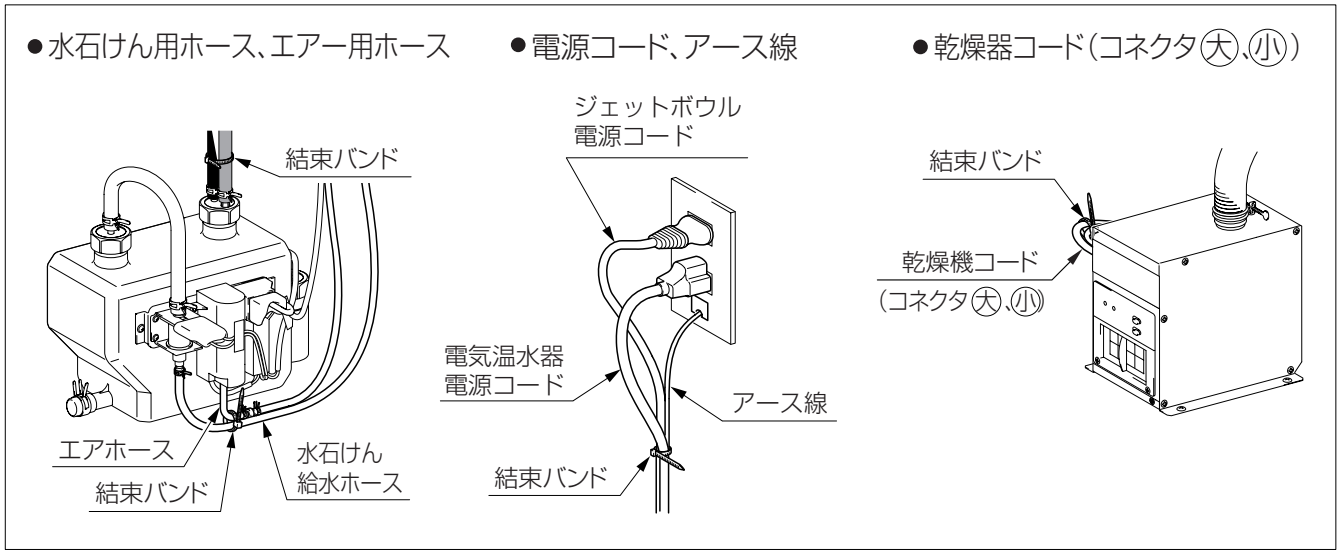
7.手の洗い方シールの張付け

「乾燥」表示の横に手の乾かし方シールを張り付けてください。



■ここまでの取付作業終了時、各種配管・電線を以下の単位で結束バンドでまとめてください。

●水石けん用ホース、エアー用ホース　●電源コード、アース線　●乾燥器コード（コネクタ㊦、㊧）



引渡し前の確認

■引渡前の確認および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

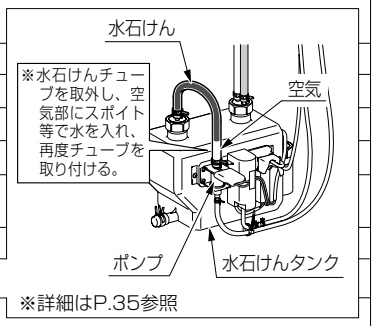
[故障と点検]

	故障の状況	確認内容	処置方法	参照事項
吐水口部	吐水しない	流量調節栓は開いていますか?	流量調節栓を開く。	調節･試運転
		電磁弁コードが電磁弁に差し込まれていますか?	電磁弁コードを電磁弁に差し込む。	—
		断水中ではありませんか?	回復するまでお待ちください。	—
		停電中ではありませんか?	回復するまでお待ちください。	—
		電源元のブレーカー､ヒューズは切れていませんか?	ブレーカー､ヒューズを修復する。	—
		ストレーナーや泡沫散水板にゴミ等が付着していませんか?	ゴミ等を除去する。	調節･試運転 泡沫散水板の掃除
		赤外線センサー表面が汚れていませんか?	柔らかい布で掃除する。	—
		電源プラグがコンセントから外れていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込む。	—
		給水ホースが折れ曲がっていませんか?	給水ホースを正常に接続する。	P.26 給水ホースの接続
		電源プラグを抜き､1分後に再度差し込んでください。		
		上記の箇所を確認しても吐水しない場合は､流量調節栓を閉じて､取扱店またはINAXメンテナンスまでお問い合わせください。		
	吐水口根元から水が漏れる	泡沫吐水口ノズルがしっかり締め込まれていますか?	泡沫吐水口ノズルをしっかり締め込んでください。	泡沫散水板の掃除
	流量が少ない	流量調節栓を全開にしていますか?	流量調節栓を全開にする。	調節･試運転
		ストレーナーや泡沫散水板にゴミ等が付着していませんか?	ゴミ等を除去する。	調節･試運転 泡沫散水板の掃除
		水圧が低くないですか?	定流量弁を外して流量調節栓にて流量の調節を行ってください。	調節･試運転
	流量が多い	ストレーナー内の定流量弁が取り外されていませんか?	定流量弁を正しくセットしてください。	調節･試運転
	止水しない	センサーの前に障害物はありませんか?	障害物を取り除く。	—
		センサー表面が汚れていませんか?	汚れをふき取る。	—
		上記の箇所を確認しても止水しない場合は､流量調節栓を閉じて､取扱店またはINAXメンテナンスまでお問い合わせください。		
	すぐにお湯が出ない 通電表示灯が点灯しない	停電中ではありませんか?	回復するまでお待ちください。	—
		電源元のブレーカー､ヒューズは切れていませんか?	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。	—
		電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。	—
		電気温水器の電源スイッチが「切」になっていませんか?	電源スイッチを「入」にしてください。	—
		空焚きをして安全装置が働いている。	安全装置をリセットしてください。	P.40
	漏水している	電気温水器本体から漏水していますか?	取扱店またはINAXメンテナンスへご相談ください。	—
		配管接続部から漏水していますか?	締め直すことができる部分は締め直してください。	—
		排水セットから溢れていますか?	吐水口を掃除してください。	ジェットボウル取扱説明書の15ページ「水栓（吐水口）のおそうじと流量調節」参照
	お湯が汚れている	タンク内が汚れていますか?	タンク内を掃除してください。	小型電気温水器取扱説明書9ページ「タンク内の掃除」参照

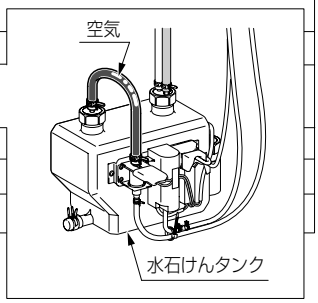
次ページに続く

引渡し前の確認

	故障の状況	確認内容	処置方法	参照事項
水石けん吐出口部	吐出しない	停電中ではありませんか?	回復するまでお待ちください。	—
		電源元のブレーカー、ヒューズは切れていませんか?	ブレーカー、ヒューズを修復する。	—
		電源プラグがコンセントから外れていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込む。	調節・試運転
		タンクコードが外れていませんか?	タンクコードを接続する。	施工方法
		赤外線センサー表面が汚れていませんか?	柔らかい布で掃除する。	調節・試運転
		水石けんは補給されていますか?	水石けんを補給する。	調節・試運転
		水石けんチューブは外れていませんか?	水石けんチューブを接続する。	施工方法
		水石けんタンクの保護キャップはついていませんか?	保護キャップを外す。	施工方法
		吐出口はつまっていませんか?	水洗いして取り除く。	—
		水石けんホースに空気がたまっていませんか?	空気部に呼び水を入れる。	
		コンセントプラグを抜き、1分後に再度差し込んでください。		
		上記の箇所を確認しても吐出しない場合は、取扱店またはINAXメンテナンスまでお問い合わせください。		
	ムース状水石けんの切れが悪い	吐出口はつまっていませんか?	水洗いして取り除く。	—
		水石けんホース内に空気が混入していませんか?	水石けん吐出をくり返して空気を取り除く。	
	止まらない	センサーの前に障害物はありませんか?	障害物を取り除く。	—
		センサー表面が汚れていませんか?	汚れをふき取る。	—
		上記の箇所を確認しても止まらない場合は、取扱店またはINAXメンテナンスまでお問い合わせください。		



※詳細はP.35参照



乾燥器吐出口部	吐出しない	停電中ではありませんか?	回復するまでお待ちください。	—
		電源元のブレーカー、ヒューズは切れていませんか?	ブレーカー、ヒューズを修復する。	—
		電源プラグがコンセントから外れていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込む。	調節・試運転
		コネクター類が外れていませんか?	コネクター類を接続する。	施工方法
		赤外線センサー表面が汚れていませんか?	柔らかい布で掃除する。	調節・試運転
		本体フィルターはつまっていませんか?	針などでつまりを取り除く。	—
		電源プラグを抜き、1分後に再度差し込んでください。		
		上記の箇所を確認しても吐出しない場合は、取扱店またはINAXメンテナンスまでお問い合わせください。		
	止まらない	センサーの前に障害物はありませんか?	障害物を取り除く。	—
		センサー表面が汚れていませんか?	汚れをふき取る。	—
		上記の箇所を確認しても止まらない場合は、取扱店またはINAXメンテナンスまでお問い合わせください。		
	点検ランプが点滅している	電源プラグを抜き、1分後に再度差し込んでください。それでも点滅する場合は、取扱店またはINAXメンテナンスまでお問い合わせください。		

水石けん補充部	補充できない	水石けん補充ホースが折れたり、曲がったりしてトラップを形成していませんか?	たわみがないように適当な長さでカットしてください。	—

（電気温水器付の場合）

■次のような場合は故障ではありません

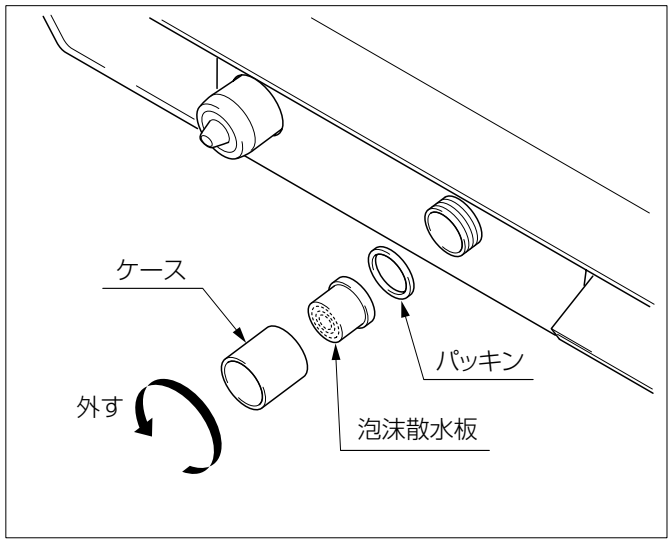
こんなときは	理由
電源スイッチを「入」にしているのに通電表示灯が点灯しない	ヒーターへ通電している場合に通電表示灯が点灯します。タンク内の水が温かい場合、ヒーターへの通電を停止するため、通電表示灯が消えます。
電気温水器から異音がする	沸きあがり近くになると、電気温水器からお湯が沸いている音がします。
膨張水排水口からポタポタと水が出る	タンク内の水があたためられて膨張するため、タンク内が高圧にならないように膨張した水を排水します。
再使用時にお湯の温度が一瞬低くなる、または高くなる場合がある	内蔵されているサーモスタットの温度調節に若干時間がかかるためです。
本体が熱くなっている	通常、機器外装部は40℃程度まで上昇します。

引渡し前の確認

[泡沫散水板の掃除]

泡沫散水板の表面によごれ、水あか等が付着しますと吐水に乱れが生じます。
電源コードを抜くか、または流量調節栓（止水栓）を時計回りいっぱいにねじ込み止水した後、手でケースを反時計回りに回して吐水口本体より外し、中の泡沫散水板を掃除してください。

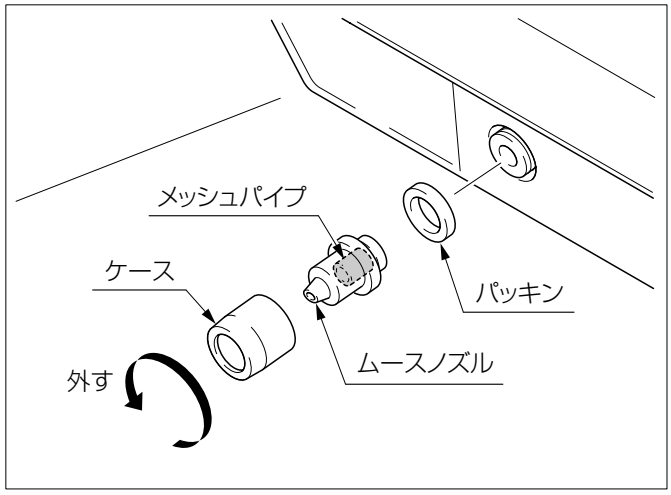
※必ず止水した状態で作業してください。吐水口内部への漏水の原因となります。
※泡沫散水板のよごれは、水に濡らした柔らかい布等でふき取ってください。よごれがひどい時は、適当に薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。
※掃除した後は、ケースに泡沫散水板とパッキンを入れてしっかり締め込んでください。
しっかりと締め込まないと、水漏れの原因となりますのでご注意ください。
※通水時に必ず水漏れの確認を行ってください。



[ムースノズルの掃除]

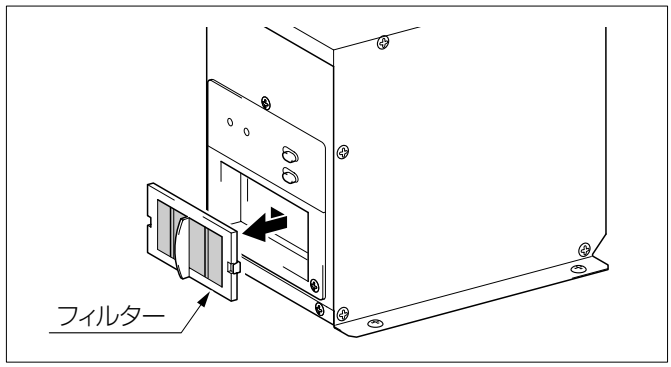
ムースノズルやメッシュパイプの表面によごれ、ゴミ等が付着しますと水石けんが吐出できなくなることがあります。
電源コードを抜くか、または掃除モードボタンを1秒間押した後、手でケースを反時計回りに回してムースノズルを本体より外し、中のメッシュパイプとムースノズルを掃除してください。

※必ず止水した状態で作業してください。ムース吐水口内部への水石けん漏れの原因となります。
※メッシュ部分は強くこすらないでください。破れの原因となり、ムース感がわるくなります。
※掃除した後は、ケースをしっかり締め込んでください。
しっかりと締め込まないと、水石けん漏れの原因となりますのでご注意ください。

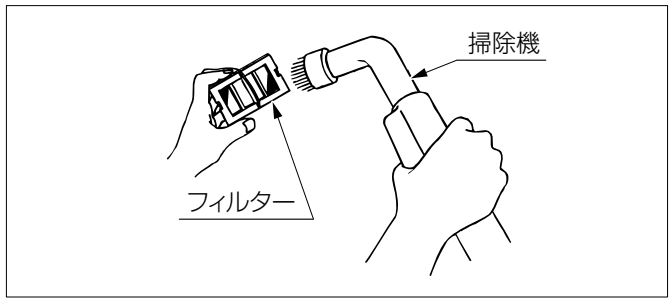


[乾燥器フィルターの掃除]

フィルターが目づまりすると、風量が低下して乾きにくくなります。
①乾燥器本体のフィルターを片側にずらしながら手前に引き外します。

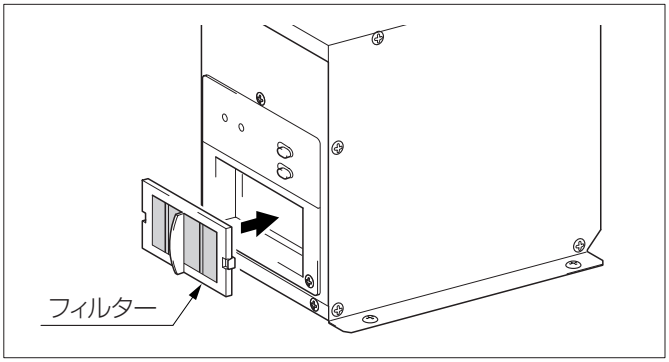


②掃除機でほこりを吸い取ります。
ひどいよごれは、台所用洗剤（中性洗剤）で水洗いをし、日陰でよく乾かしてください。
※掃除機を使用しない場合は、ブラシ等でホコリを落としてください。



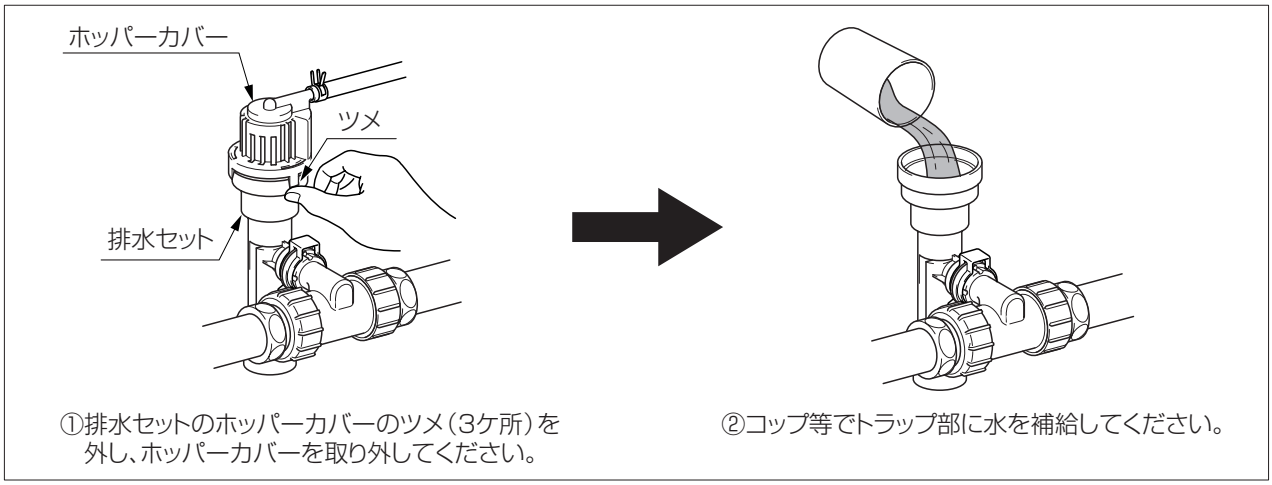
次ページに続く

③フィルターを乾燥器本体に取り付けます。
フィルターは片側のツメを引っ掛けた後、反対側の引っ掛け部を「カチッ」と音がするまで押し、本体に確実に取り付けてください。



■施工後、長期間使用しない場合

●止水栓を閉じてください。
●電源コンセントを抜いてください。
●長期間使用しない場合は、水石けんの代わりに水を500cc程度入れ、水を吐出させてください。
水または水石けんを入れずに長期間放置するとポンプ固着の原因になります。
●電気温水器付の場合、未入居時やお湯を1週間以上使用しない場合などに、排水セットのトラップ部が封水切れを起こし、臭気が発生することがあります。
排水セットのホッパーカバーを外し、トラップ部にコップ等で水を補給してください。



①排水セットのホッパーカバーのツメ(3ケ所)を外し、ホッパーカバーを取り外してください。

②コップ等でトラップ部に水を補給してください。

■安全装置のリセット方法（電気温水器付の場合でお湯にならない場合）

通電表示灯の点灯にもかかわらず、お湯にならない場合は、空焚き等の原因で安全装置が作動した可能性があります。
下記の手順に従って、安全装置をリセットしてください。

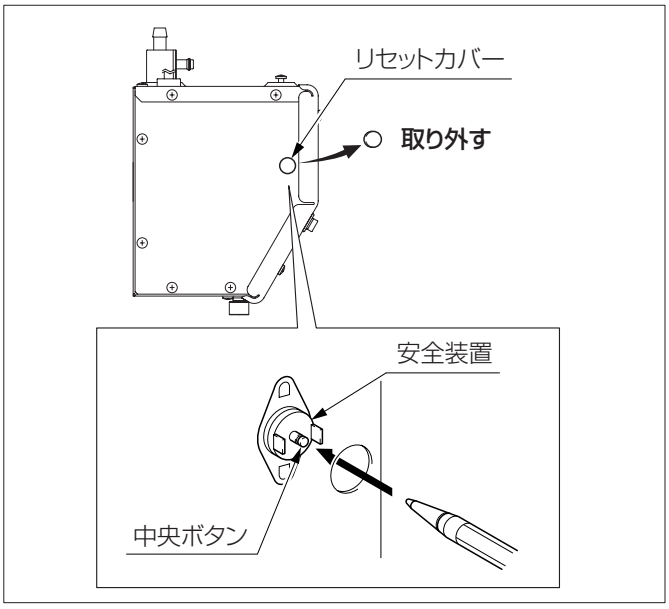
①電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。
※感電の恐れがあります。

指示実行

②電気温水器本体左側面のリセットカバーを取り外し、ボールペンの先などで機器内にある安全装置の中央ボタンを押し込んでください。
③電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にして、通電表示灯が点灯することを確認してください。
④リセットカバーを元の位置に取り付けてください。



PMS-1518（12049）